

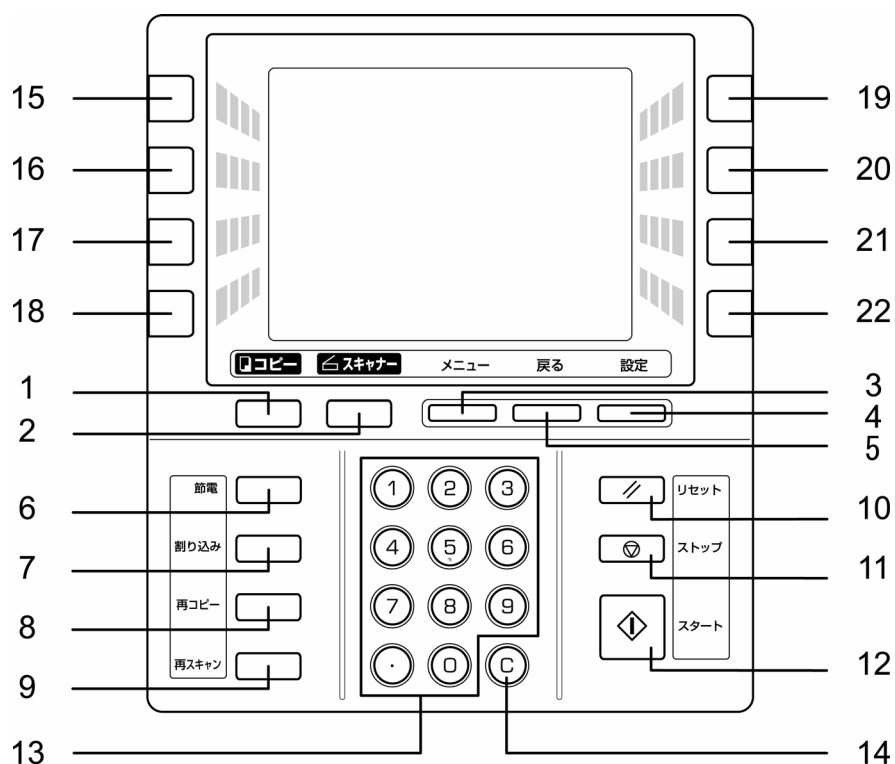
KM-3650w

コピー/スキャン 使用説明書

目次

1.	操作パネル	3
2.	各キーの機能	4
2.1	【コピー】キー	4
2.2	【スキャナー】キー	4
2.3	【メニュー】キー	5
2.4	【設定】キー	5
2.5	【戻る】キー	5
2.6	【節電】キー	5
2.7	【割り込み】キー	6
2.8	【再コピー】キー	6
2.9	【再スキャン】キー	7
2.10	【リセット】キー	7
2.11	【ストップ】キー	8
2.12	【スタート】キー	8
2.13	テンキー	8
2.14	【クリア】キー	8
2.15	[L1] / [L2] / [L3] / [L4] / [R1] / [R2] / [R3] / [R4] キー	8
3.	コピー機能	10
3.1	コピーモード画面	10
3.2	コピーの操作方法	11
3.2.1	基本的なコピーのしかた	11
3.2.2	セットコピー	11
3.3	コピー機能設定	12
3.3.1	用紙サイズ	12
3.3.2	原稿の画質	13
3.3.3	濃度	13
3.3.4	給紙元	13
3.3.5	倍率	14
3.3.6	コピー枚数（コピー部数）の設定	16
3.3.7	拡張機能設定	16
3.4	トナーがなくなったら	24
3.5	メンテナンスのメッセージについて	25
4.	スキャナー機能	26
4.1	スキャンモード画面	26
4.2	スキャナーの操作方法	27
4.2.1	基本的なスキャンのしかた	27
4.2.2	マルチページスキャン	27
4.2.3	再スキャン機能	27
4.2.4	スキャンパスワード	28
4.2.5	画像データのダウンロードについて	29
4.4	スキャン機能設定	30
4.3.1	原稿の幅	30
4.3.2	原稿の読み取り長さ	31
4.3.3	原稿の方向	31
4.3.4	原稿の画質	31
4.3.5	濃度	32
4.3.6	シャープネス	32
4.3.7	拡張機能設定	32
5.	メニューモード	37
5.1	「メニュー」モード画面	37
5.2	設定方法	37
5.2.1	トリムカット	37
5.2.2	画像データ消去	37
5.2.3	基本設定	38
5.2.4	テストモード	43
5.2.5	インフォメーション	45
5.2.6	ユーザモード	45
5.2.7	日付／時間	49
5.2.8	サービスモード	49

1. 操作パネル



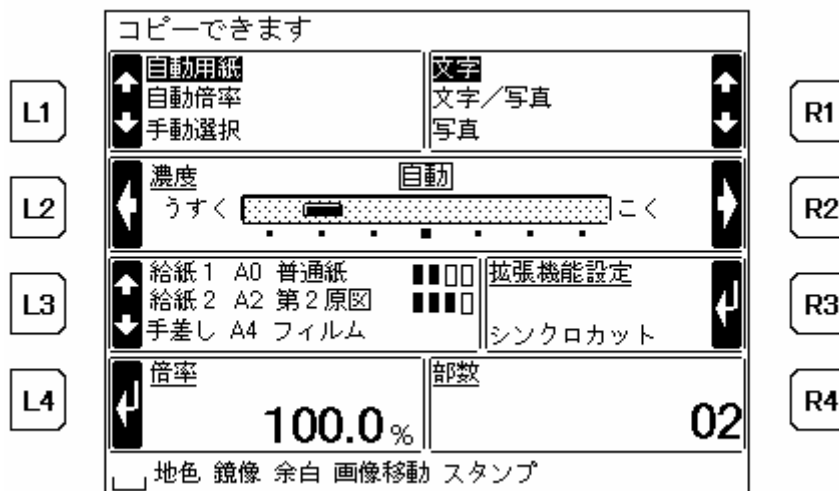
- 1 [コピー] キー
- 2 [スキャナー] キー
- 3 [メニュー] キー
- 4 [設定] キー
- 5 [戻る] キー
- 6 [節電] キー
- 7 [割り込み] キー
- 8 [再コピー] キー
- 9 [再スキャン] キー
- 10 [リセット] キー
- 11 [ストップ] キー
- 12 [スタート] キー
- 13 テンキー
- 14 [クリア] キー
- 15 [L1] キー
- 16 [L2] キー
- 17 [L3] キー
- 18 [L4] キー
- 19 [R1] キー
- 20 [R2] キー
- 21 [R3] キー
- 22 [R4] キー

本書中では、操作パネル上のキー名称を括弧で閉じた太字（例：[スタート] キー）で示します。

2. 各キーの機能

2.1 [コピー] キー

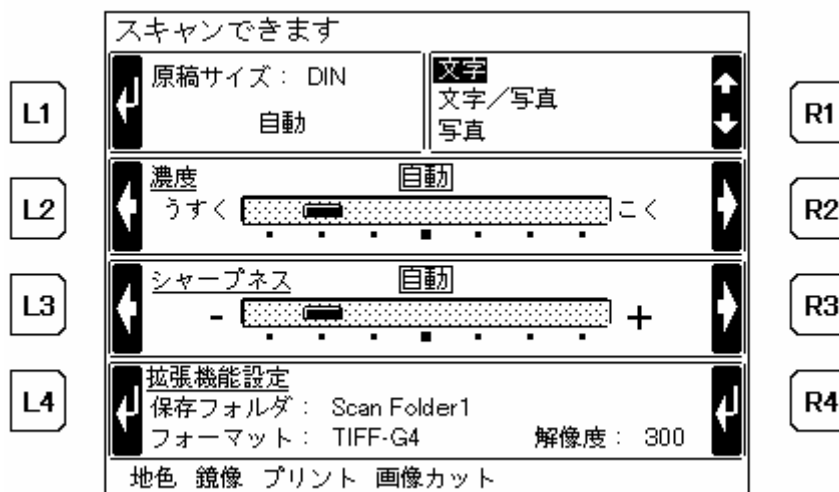
コピーするときに使用します。



【コピー】キーを押すとコピーモード画面が表示されます。
スキャン中は【コピー】キーが機能しません。

2.2 [スキャナー] キー

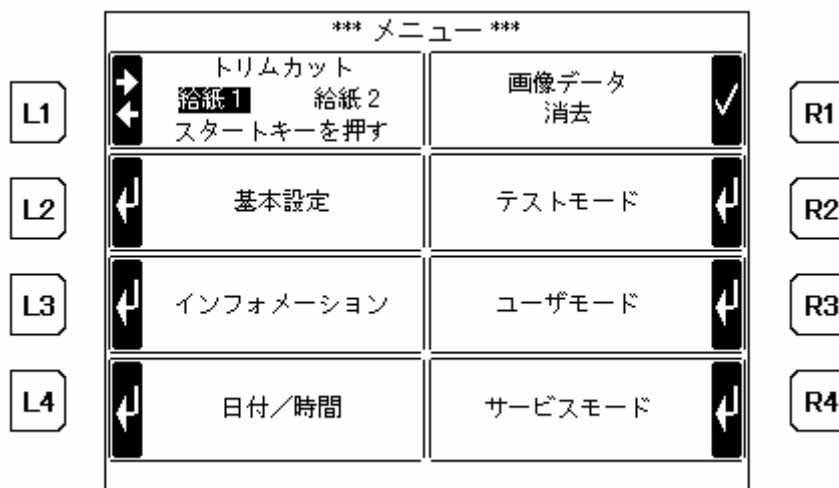
スキャンするときに使用します。



【スキャナー】キーを押すとスキャンモード画面が表示されます。
コピー中は【スキャナー】キーが機能しません。

2.3 [メニュー] キー

メニューモードに入るときに使用します。



[メニュー] キーを押すとメニューモード画面が表示されます。
コピー中およびスキャン中は [メニュー] キーが機能しません。

2.4 [設定] キー

変更した内容を確定するとき使用します。

[設定] キーを押さずに他の画面へ移動すると、変更は無効となり、元の設定に戻ります。
コピーモード画面およびスキャンモード画面では、[設定] キーを押さなくても設定を変更できます。

また、エラーを解除するときにも押してください。

2.5 [戻る] キー

設定画面で前のステップに戻るときに使用します。

[設定] キーを押す前に [戻る] キーを押すと、変更をキャンセルします。

コピーモード画面、スキャンモード画面およびメニューモード画面では、[戻る] キーが機能しません。

2.6 [節電] キー

節電モードに入るときに使用します。

操作パネルのいずれかのキーを押すと、節電モードから復帰します。

(原稿をセットする、または印刷データを受信すると自動的に節電モードから復帰します)

コピー中、スキャン中および印刷中は [節電] キーが機能しません。

2.7 【割り込み】キー

現在のコピーを中断し、緊急のコピーをするときに使用します。



割り込みモード中は、画面右上に「割り込み中」が表示されます。

【割り込み】キーは、コピーモードで使用します。（セットコピーのコピー中は割り込みコピーできません）

【コピー】キーと【再コピー】キーは割り込みモードで使用できます。

割り込みモードは、コピーが終わっても自動的に終了しません。

割り込みモードを終了するときは、再度【割り込み】キーを押してください。

割り込みモードを終了すると、割り込みモードで設定した変更はキャンセルされ、中断していたコピーを再開します。


2.8 【再コピー】キー


終了したコピーを再度コピーするときに使用します。

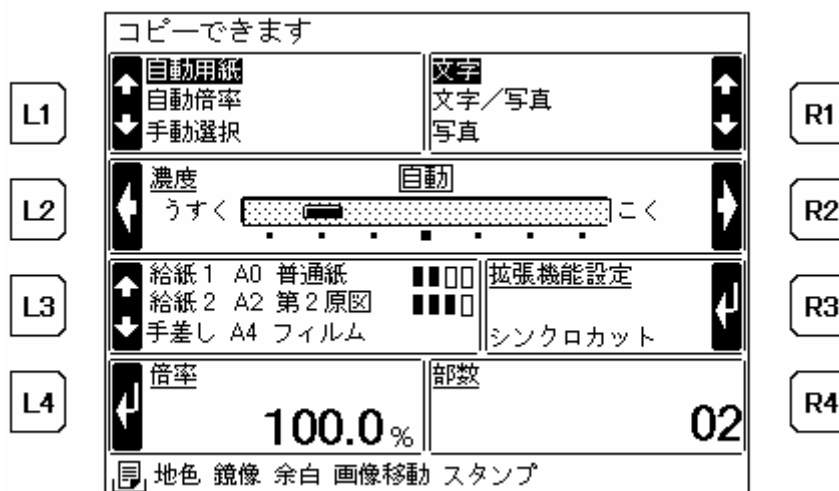
印刷中は【再コピー】キーが機能しません。

再コピー用のデータがない場合、再コピーはできません。

メニューモードの基本設定で、再コピーの禁止や、パスワードの設定ができます。

画面左下に  が表示されているときは、再コピーができます。

画面左下に  が表示されているときは、再コピー用のデータがない、または再コピーができない状態です。



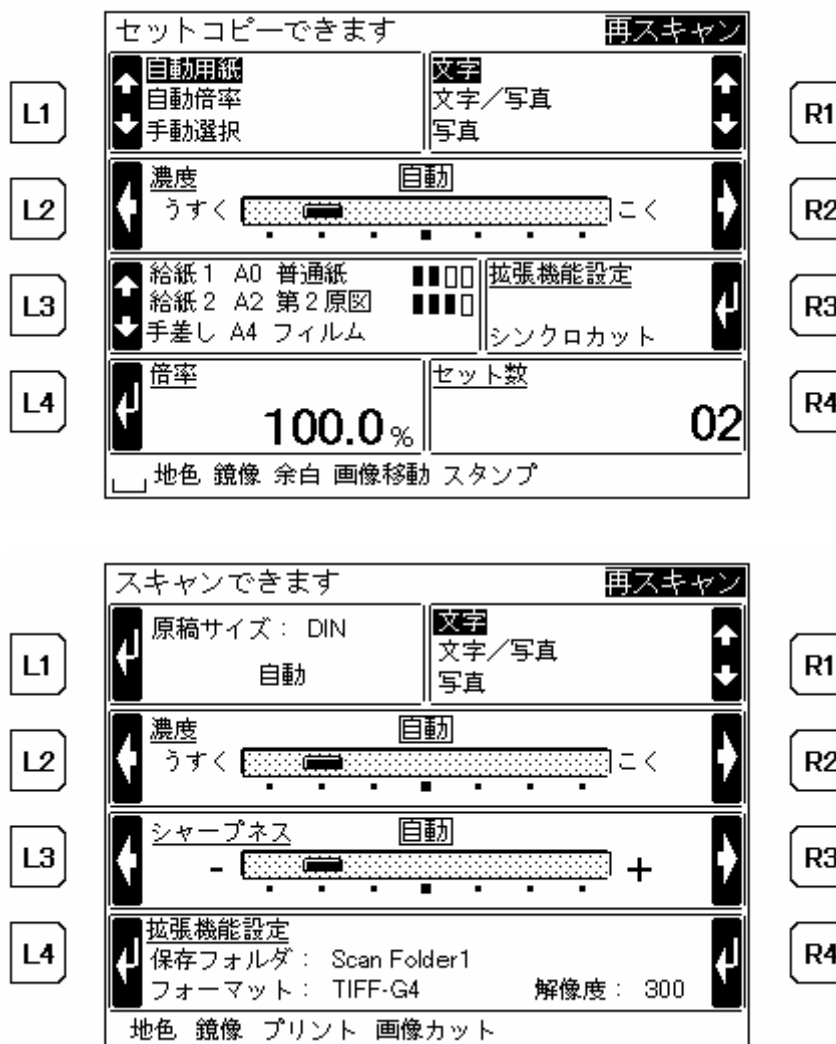
再コピー時には、次の設定を変更できます。

- ・ 倍率
- ・ 用紙種類
- ・ コピー枚数

セットコピーのときは、コピー部数を変更できます。

2.9 [再スキャン] キー

すでに読み込んだ画像データを、新しい画像データに置き換えるときに使用します。



再スキャンモード中は、画面の右上に「再スキャン」が表示されます。

再スキャンは、間違った原稿を読み込んだときや、原稿が斜めに給紙されてしまったときなどに便利です。

再スキャンはセットコピー中、またはスキャン中にのみ使用できます。

再スキャンは、置き換える画像データがない場合は機能しません。

画像データの保存先を変更すると、再スキャンは機能しません。

原稿の読み込みが終わると、再スキャンモードは終了します。

再度[再スキャン]キーを押しても、再スキャンモードを終了できます。

2.10 [リセット] キー

表示中の画面の設定を初期値に戻すときや、再コピー用のデータを削除するときに使用します。

保存フォルダに保存されている画像データは削除されません。

コピー中およびスキャン中は[リセット]キーが機能しません。

[リセット]キーを押しても、次の設定は変更されません。

- ・ 紙幅／紙種設定
- ・ 等倍度微調整

2.11 [ストップ] キー

[ストップ] キーは、スキャン中およびコピー中のみ使用できます。

実行中のコピー出力の中止、用紙の排出、およびコピージョブの削除に使用します。プリントジョブは中止、削除できません。

[ストップ] キーを3秒以上押し続けると、実行中のコピー出力の中止、用紙の排出、キューにあるコピージョブの全削除、および再コピー用のデータの削除ができます。

また、原稿の読み込みをキャンセルして、原稿の給紙を中止するときにも使用します。
(キャンセル後の原稿は、スキャナーユニットを開けて、手で取り出してください)

2.12 [スタート] キー

オートスタート機能が「オフ」に設定されている場合は、毎回[スタート]キーを押してコピーやスキャンを開始します。

セットコピーを開始するときも[スタート]キーを押してください。

2.13 テンキー

コピー枚数や倍率などの数値を入力するときに使用します。

2.14 [クリア] キー

テンキー入力で設定する数値を0または1に戻すときに使用します。

2.15 [L1] / [L2] / [L3] / [L4] / [R1] / [R2] / [R3] / [R4] キー

画面上で、各キーに割り当てられた機能进行操作するときに使用します。割り当てられている機能はキーの横にある画面上のアイコンで確認できます。アイコンの意味は次のとおりです。



- 左の項目を選択します。
- カーソルを左に移動します。
- 値が小さくなります。



- 右の項目を選択します。
- カーソルを右に移動します。
- 値が大きくなります。



- カーソルを右向きに動かします。



- カーソルを下向きに動かします。



- 次の設定に進みます。



- 表示されている設定を確定します。



- 表示されている操作を実行します。
- ユーザ設定倍率で使用します。



- パスワードを入力します。
- ユーザ設定倍率で使用します。

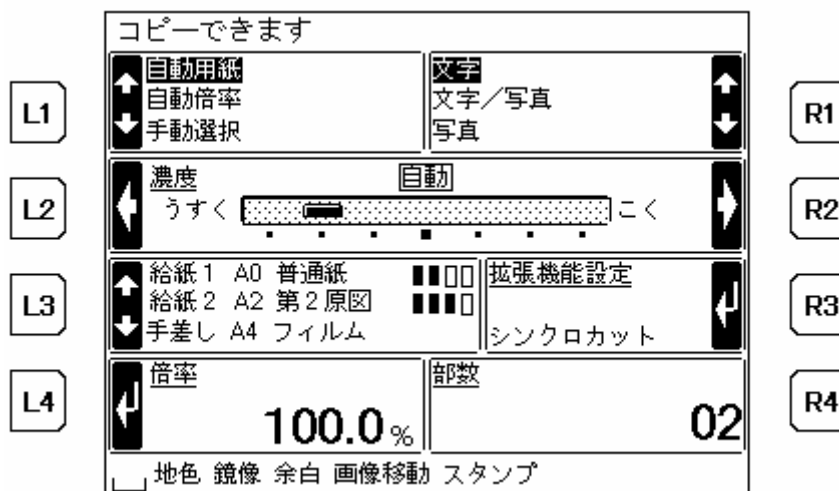
3. コピー機能

3.1 コピーモード画面

次の画面は基本のコピーモード画面です。

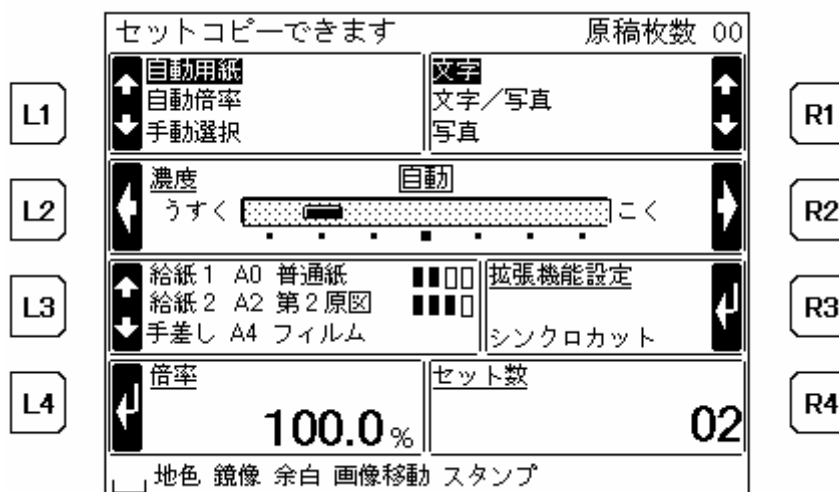
コピーを開始する前に、「コピーできます」が画面の左上に表示されていることを確認してください。

コピーまたはスキャンモード画面が表示されているときのみ、原稿を挿入することができます。



セットコピーをするときは、「セットコピーできます」が画面の左上に表示されていることを確認してください。

セットコピーのしかたおよびキャンセルについては、以降のページを参照してください。



原稿の1枚目を読み取った後に、「セットコピーできます」と「スタートキーでセットコピー開始」が交互に表示されます。

読み取った原稿枚数は、画面の右上に表示されます。

コピーの前に次の設定も確認してください。

- ・ 用紙サイズ
- ・ 原稿の画質
- ・ 濃度
- ・ ロール紙のカット方法
- ・ 倍率

上記の設定については、以降のページを参照してください。

3.2 コピーの操作方法

3.2.1 基本的なコピーのしかた

読み取る面を上にして、原稿テーブルに置いてください。

「コピーできます」が表示されていたら、原稿を挿入してください。

(ウォームアップ中でも原稿を読み取ることができます。ウォームアップ終了後にコピーを開始します)

原稿の読み取りが終了すると、コピーを開始します。

オートスタート機能が「オフ」の場合は、原稿を挿入するたびに【スタート】キーを押してください。

オートスタートを開始するまでの時間は、工場出荷時は 1.5 秒に設定されています。この時間は変更することができます。

コピー枚数は 99 枚まで設定できます。

3.2.2 セットコピー

セットコピーは数枚の原稿をまとめてコピーできる機能です。

99 枚までの原稿を読み取ることができます。

セットコピーの部数は 99 部まで設定できます。

原稿の読み取りがすべて終了したら、【スタート】キーを押してください。

コピー出力を開始します。

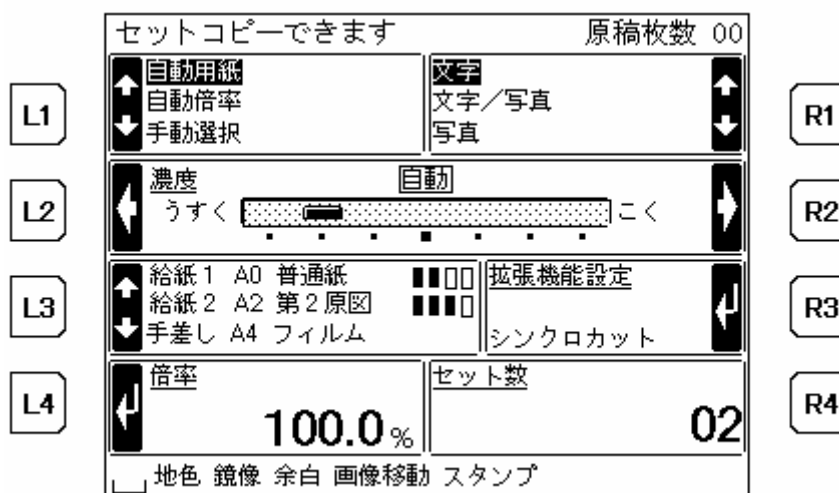
次のセットコピーは、現在のコピーを終了してから行ってください。

拡張機能設定で、2 とおりのソートモードを選択できます。

(a) ソートモード : 1, 2, 3 → 123, 123, 123

(b) ソートモード : 1, 2, 3 → 111, 222, 333

セットコピーのしかたとソートモードの選択方法については、以降のページを参照してください。



読み取った原稿枚数は、画面の右上に表示されます。

原稿の 1 枚目を読み取った後に、「セットコピーできます」と「スタートキーでセットコピー開始」が交互に表示されます。

原稿の読み取りおよびコピーをキャンセルするには【リセット】キーを押すと、セットコピーをキャンセルできます。

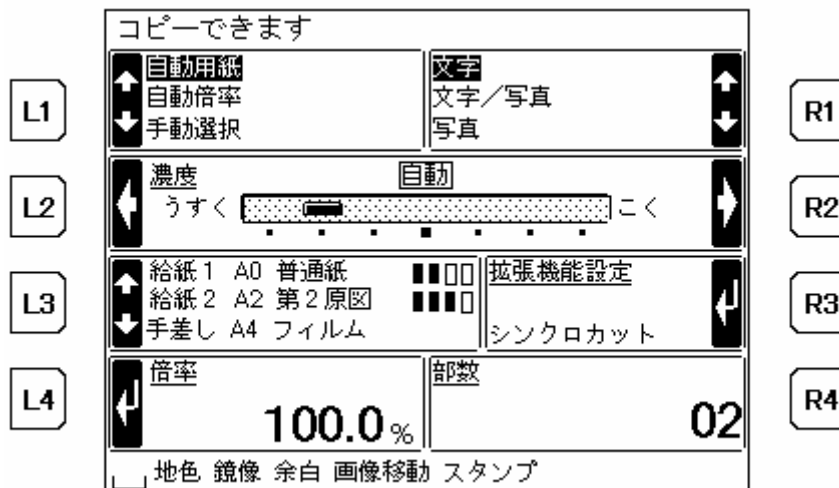
キャンセルすると読み取った原稿のデータは削除されます。

3.3 コピー機能設定

3.3.1 用紙サイズ

用紙サイズの設定内容は次のとおりです。

- ・ 自動用紙
- ・ 自動倍率
- ・ 手動選択

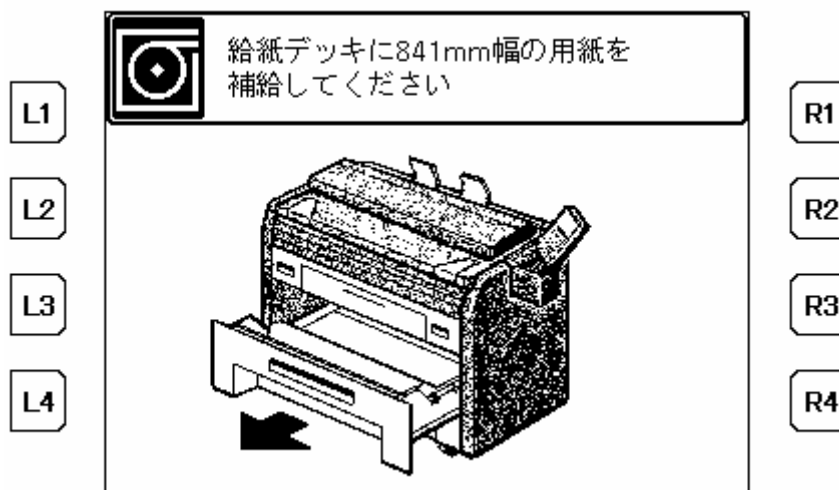


3.3.1.1 自動用紙

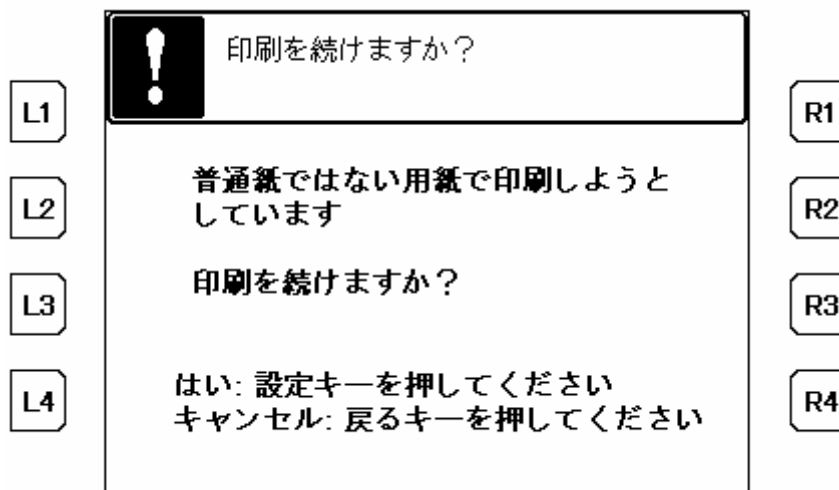
原稿サイズと倍率に合わせて、最適な用紙を自動的に選択します。その際、用紙に合わせて画像を回転する場合があります。

コピーモード画面の【L1】キーを繰り返し押して、「自動用紙」を選択してください。

セットされている用紙が画像より小さい場合、次の画面が表示されます。画像に合った用紙をセットしてください。



用紙種類の設定が「第 2 原図」または「フィルム」である場合、次の画面が表示されます。



「自動用紙」を選択したときは、給紙元（「給紙 1」、「給紙 2」、「手差し」）を選択できません。

3.3.1.2 自動倍率

原稿と用紙の幅から、画像が用紙の幅に合うように、最適な倍率を自動的に設定します。

コピーモード画面の [L1] キーを繰り返し押して、「自動倍率」を選択してください。

3.3.1.3 手動選択

「手動選択」を選択すると、「給紙 1」、「給紙 2」または「手差し」から給紙元を自由に選択できます。

画像が選択した用紙より大きい場合は、画像の一部が切れた状態でコピーされます。

コピーモード画面の [L1] キーを繰り返し押して、「手動選択」を選択してください。

3.3.2 原稿の画質

設定できる原稿の画質は次のとおりです。

「文字」は書類など文字が多い原稿に適しています。

「文字／写真」は文字と写真が混在する原稿に適しています。

「写真」は写真や色合いが濃い原稿に適しています。

コピーモード画面の [R1] キーを繰り返し押して、原稿の画質を選択してください。

3.3.3 濃度

「自動」にすると、画像は最適な濃度でコピーされます。

コピーモード画面の [L2] キーを押すとうすくなり、[R2] キーを押すとこくなります。

3.3.4 給紙元

「給紙 1」、「給紙 2」または「手差し」から給紙元を選択します。

コピーモード画面の [L3] キーを繰り返し押して、給紙元を選択してください。

「自動用紙」を設定したときは、給紙元（「給紙 1」、「給紙 2」、「手差し」）を選択できません。

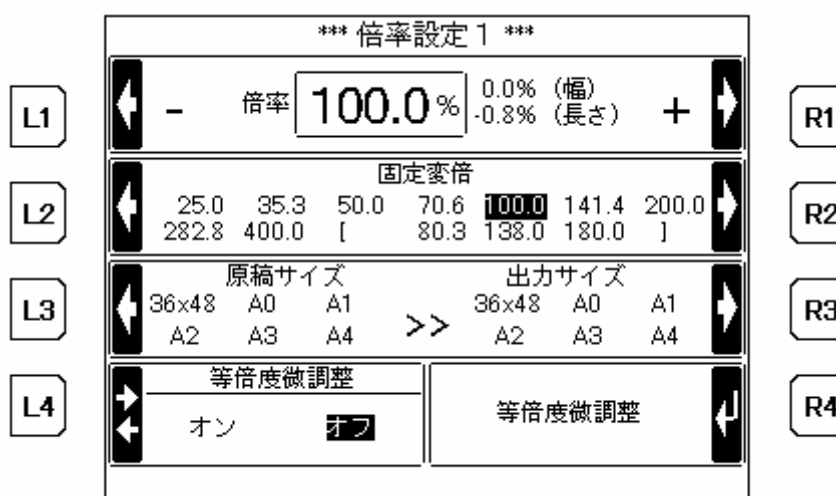
3.3.5 倍率

コピーを縮小/拡大する設定は次のとおりです。

- ・ 手動倍率
- ・ 固定変倍
- ・ 用紙サイズ倍率設定
- ・ 等倍度微調整

コピーモード画面の [L4] キーを押して倍率を設定します。

倍率は 25～400 %の範囲で、0.1 %刻みに変えることができます。



倍率の変更方法については、以降を参照してください。

3.3.5.1 手動倍率

倍率を手動で設定するときは、テンキーで倍率を直接入力してください。

「倍率設定 1」画面の [L1] キーを押すと値が小さくなり、[R1] キーを押すと値が大きくなります。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.5.2 固定変倍

「倍率設定 1」画面の [R2] または [L2] キーを繰り返し押して、固定倍率を選択してください。

選択できる倍率は、「25.0」、「35.3」、「50.0」、「70.6」、「100.0」、「141.4」、「200.0」、「282.8」、「400.0」です。

固定変倍に「ユーザ設定倍率」を 4 種類まで登録できます。「ユーザ設定倍率」は括弧（ [] ）の中に表示されます。

設定方法は以降のページを参照してください。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.5.3 用紙サイズ倍率設定

原稿サイズと出力サイズを指定して、自動的に倍率を設定します。
原稿サイズは、「倍率設定 1」画面の [L3] キーを、出力サイズは [R3] キーを繰り返し押し
押し指定してください。

指定できる原稿サイズおよび出力サイズは、「36×48」、「A0」、「A1」、「A2」、
「A3」、「A4」です。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

原稿サイズと出力サイズの組み合わせによっては倍率が設定できない場合があります。

次の組み合わせでは、倍率は自動的に 25.0 %に設定されます。

原稿サイズ	出力サイズ	実際の倍率
36×48	→ A4	23 %

次の組み合わせでは、倍率は自動的に 400.0 %に設定されます。

原稿サイズ	出力サイズ	実際の倍率
A4	→ 36×48	435 %

3.3.5.4 等倍度微調整

垂直方向（長さ）と水平方向（幅）の倍率の微調整ができます。

「倍率設定 1」画面の [L4] キーを繰り返し押し「オン」を選択し、[設定] キーを押
してください。

次に [R4] キーを押してください。「倍率設定 2」画面が表示されます。

*** 倍率設定 2 ***

倍率 100.0 % 0.0% (幅)
-0.8% (長さ)

L1 L2 L3 L4 R1 R2 R3 R4

幅方向補正 0.0 % (幅)

長さ方向補正 -0.8 % (長さ)

長さ 幅

幅と長さの調整は、-5.0～5.0 %の範囲で、0.1 %刻みに設定できます。

幅方向の値は [R2] キーを押すと大きくなり、[L2] キーを押すと小さくなります。
長さ方向の値は [R3] キーを押すと大きくなり、[L3] キーを押すと小さくなります。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.6 コピー枚数（コピー部数）の設定

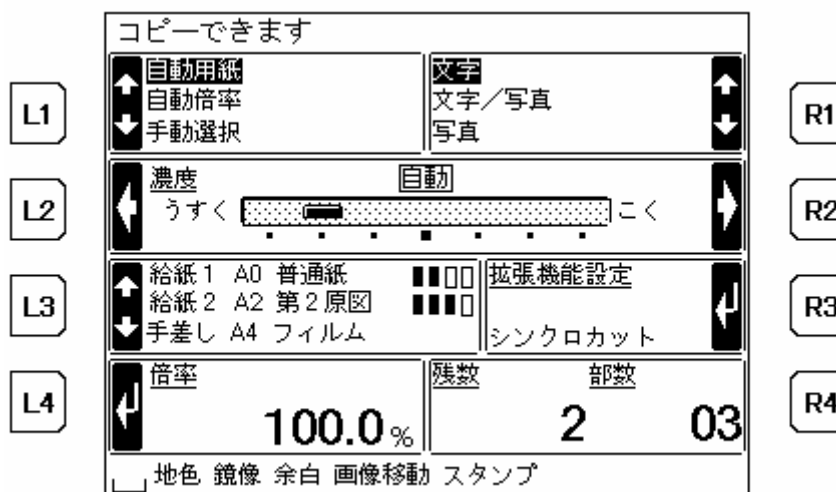
コピー枚数またはコピー部数は、テンキーで直接入力します。

【クリア】キーを押すと、数値は「1」に戻ります。

コピー中は「部数」の左に「残数」が表示されます。

残数は、まだコピーされていない残りの枚数を意味します。

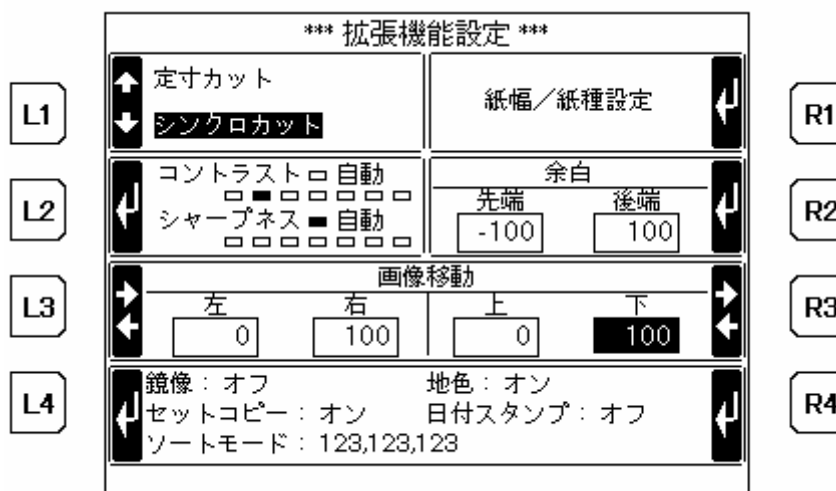
セットコピーのときも「残数」が表示されます。このときは、まだコピーされていない、残りのコピー枚数の合計（原稿枚数×部数）を意味します。



3.3.7 拡張機能設定

コピーモード画面の【R3】キーを押してください。「拡張機能設定」画面が表示されます。拡張機能設定では次の項目を設定できます。

- ・ ロール紙のカット方法
- ・ 紙幅／紙種設定
- ・ コントラスト
- ・ シャープネス
- ・ 余白（先端）
- ・ 余白（後端）
- ・ 画像移動
- ・ 鏡像
- ・ 地色
- ・ セットコピー
- ・ 日付スタンプ
- ・ ソートモード



参考：

コピーモード画面の用紙サイズに「手動選択」、給紙元に「手差し」を選択した場合は、次の画面が表示されます。

「ロール紙のカット方法」と「紙幅／紙種設定」が、それぞれ「手差し 紙幅」と「手差し 紙種」に変わります。

*** 拡張機能設定 ***			
L1	手差し 紙幅 36" A0 A1 A2 A3 A4	手差し 紙種 普通紙 第2原図 フィルム	R1
L2	コントラスト <input type="checkbox"/> 自動 シャープネス <input checked="" type="checkbox"/> 自動	余白 先端 後端 -100 100	R2
L3	画像移動 左 右 上 下 0 100 0 100		R3
L4	鏡像：オフ 地色：オン セットコピー：オン 日付スタンプ：オフ ソートモード：123,123,123		R4

3.3.7.1 ロール紙のカット方法

「定寸カット」を選択すると、あらかじめ設定されたサイズでカットします。

「シンクロカット」を選択すると、画像の長さに合わせたサイズでカットします。

「拡張機能設定」画面の [L1] キーを繰り返し押して、カット方法を選択してください。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.2 紙幅／紙種設定

用紙の幅と種類を設定するときは、「拡張機能設定」画面の [R1] キーを押してください。

「拡張機能設定 1」画面が表示されます。

「給紙 1」は、[L1] キーを繰り返し押して用紙の幅を、[R1] キーを繰り返し押して用紙種類を選択してください。

「給紙 2」は、[L2] キーを繰り返し押して用紙の幅を、[R2] キーを繰り返し押して用紙種類を選択してください。

「手差し」は、[L3] キーを繰り返し押して用紙の幅を、[R3] キーを繰り返し押して用紙種類を選択してください。

設定できるロール紙の幅は、「36"」、「A0」、「A1」、「A2」、「A3」です。

手差しに設定できる用紙の幅は、「36"」、「A0」、「A1」、「A2」、「A3」、「A4」です。

設定できる用紙種類は、「普通紙」、「第2原図」、「フィルム」です。

*** 拡張機能設定 1 ***			
L1	給紙1 紙幅 36" A0 A1 A2 A3	給紙1 紙種 普通紙 第2原図 フィルム	R1
L2	給紙2 紙幅 36" A0 A1 A2 A3	給紙2 紙種 普通紙 第2原図 フィルム	R2
L3	手差し 紙幅 36" A0 A1 A2 A3 A4	手差し 紙種 普通紙 第2原図 フィルム	R3
L4	設定後はコピーまたはスキャナ画面に戻してください		R4

〔設定〕キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.3 コントラスト

「自動」にすると、最適なコントラストでコピーされます。
 コントラストを手動で調整するときは、「拡張機能設定」画面の〔R2〕または〔L2〕キーを押してください。「拡張機能設定 2」画面が表示されます。
 〔L1〕キーを押すと弱くなり、〔R1〕キーを押すと強くなります。

*** 拡張機能設定 2 ***			
L1	コントラスト - [] [] [] [] [] [] +		R1
L2	シャープネス - [] [] [] [] [] [] +		R2
L3	先端余白 -100 mm		R3
L4	後端余白 +100 mm		R4

〔設定〕キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.4 シャープネス

「自動」にすると、最適な鮮明さでコピーされます。
 シャープネスを手動で調整するときは、「拡張機能設定」画面の〔R2〕または〔L2〕キーを押してください。「拡張機能設定 2」画面が表示されます。
 〔L2〕キーを押すと弱くなり、〔R2〕キーを押すと強くなります。

〔設定〕キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.5 余白（先端）

用紙の先端に余白を追加します。または先端画像の一部を削除してコピーします。
先端余白を設定するときは、「拡張機能設定」画面の [R2] または [L2] キーを押してください。「拡張機能設定 2」画面が表示されます。

余白の幅は -100 ~ +100 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

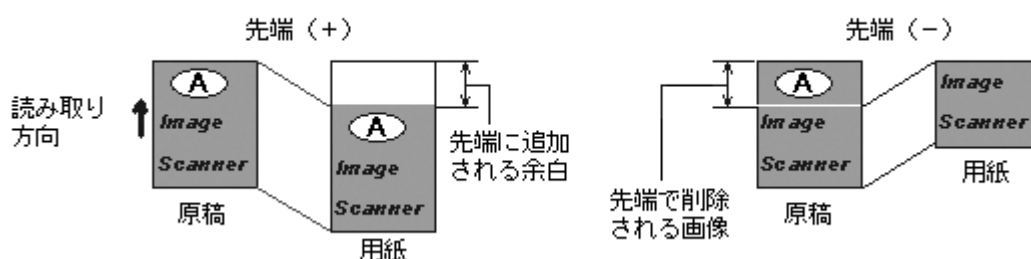
余白を追加する場合は、プラス (+) の値を入力してください。
先端の画像を削除する場合は、マイナス (-) の値を入力してください。

[R3] キーを押すと値が大きくなり、[L3] キーを押すと値が小さくなります。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

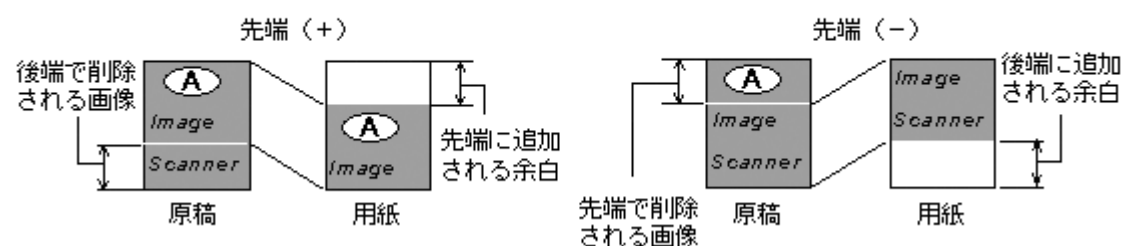
ロール紙のカット方法が「シンクロカット」の場合は、次のようになります。
先端余白を追加した場合は、用紙の長さは原稿長さ + 余白長さの合計となります。
先端画像を削除した場合は、用紙の長さは削除した長さ分、短くなります。

カット方法：シンクロカット



ロール紙のカット方法が「定寸カット」の場合は、次のようになります。
用紙の長さは常に定寸長さでカットされます。
先端余白を追加した場合は、追加した余白長さ分、後端画像が欠けることになります。
先端画像を削除した場合は、削除した長さ分、用紙の後端に余白が追加されます。

カット方法：定寸カット



3.3.7.6 余白（後端）

用紙の後端に余白を追加します。または後端画像の一部を削除してコピーします。
後端余白を設定するときは、「拡張機能設定」画面の [R2] または [L2] キーを押してください。「拡張機能設定 2」画面が表示されます。

余白の幅は -100 ~ +100 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

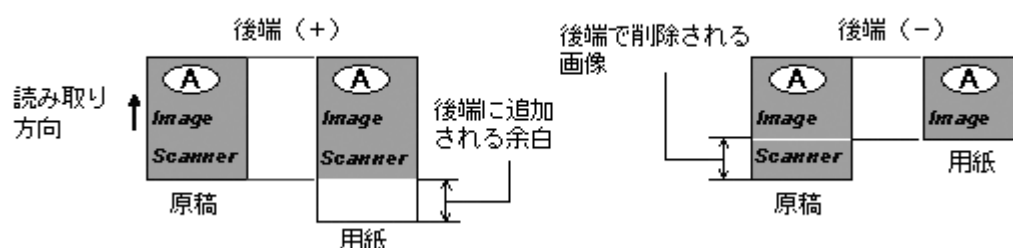
余白を追加する場合は、プラス (+) の値を入力してください。
後端の画像を削除する場合は、マイナス (-) の値を入力してください。

[R4] キーを押すと値が大きくなり、[L4] キーを押すと値が小さくなります。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

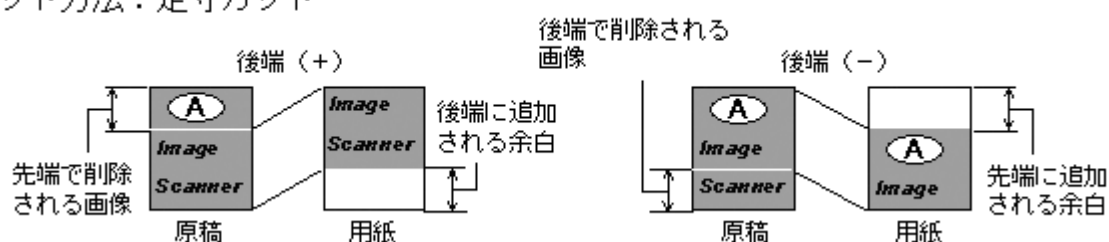
ロール紙のカット方法が「シンクロカット」の場合は、次のようになります。
後端余白を追加した場合は、用紙の長さは原稿長さ + 余白長さの合計となります。
後端画像を削除した場合は、用紙の長さは削除した長さ分、短くなります。

カット方法：シンクロカット



ロール紙のカット方法が「定寸カット」の場合は、次のようになります。
用紙の長さは常に定寸長さでカットされます。
後端余白を追加した場合は、追加した余白長さ分、先端画像が欠けることになります。
後端画像を削除した場合は、削除した長さ分、用紙の先端に余白が追加されます。

カット方法：定寸カット

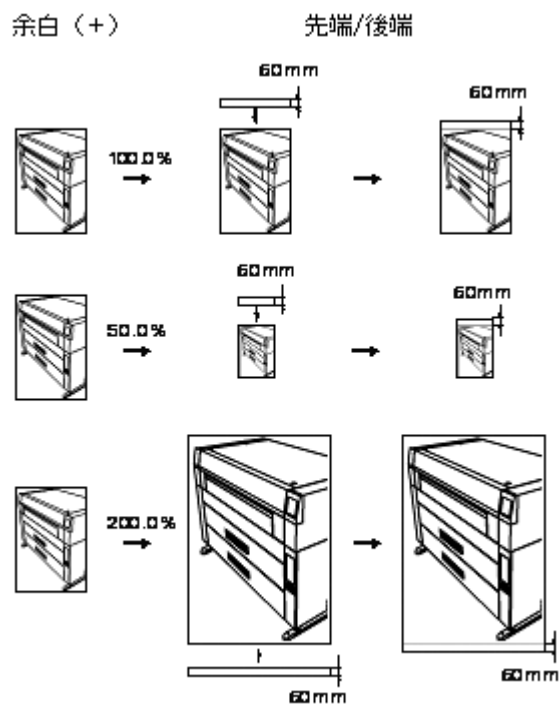


「定寸カット」を選択しているときに、先端と後端両方の余白を設定すると、先端の設定のみが有効になります。（後端の設定は無効になります）

倍率と余白（先端/後端）の関係は次のとおりです。

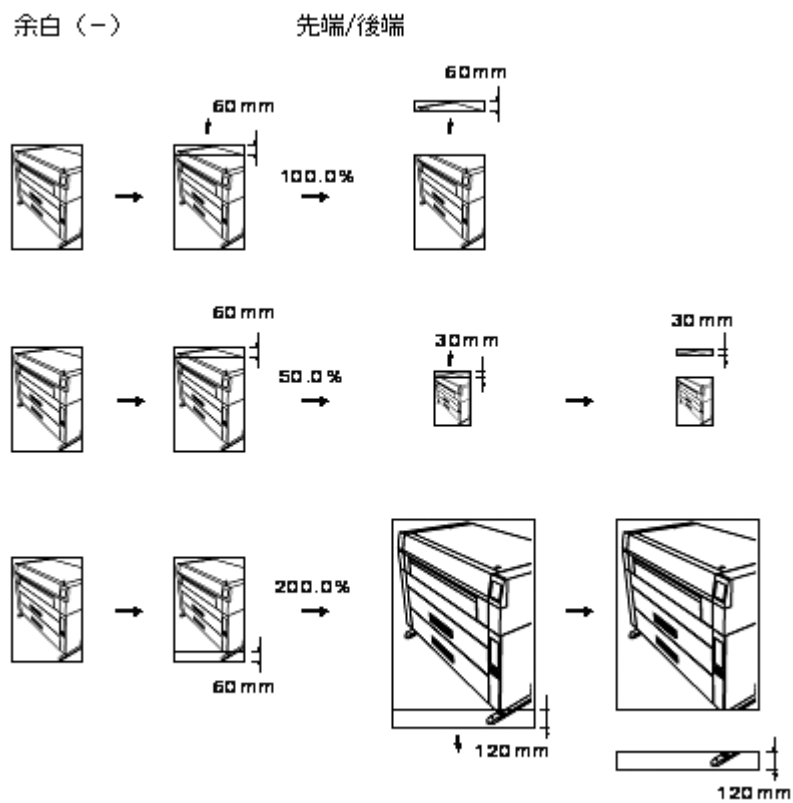
余白（+）

余白は設定した数値のとおりに追加されます。



余白（-）

削除される画像の長さは、倍率に合わせて増減します。



3.3.7.7 画像移動

画像を垂直方向や水平方向に移動してコピーします。

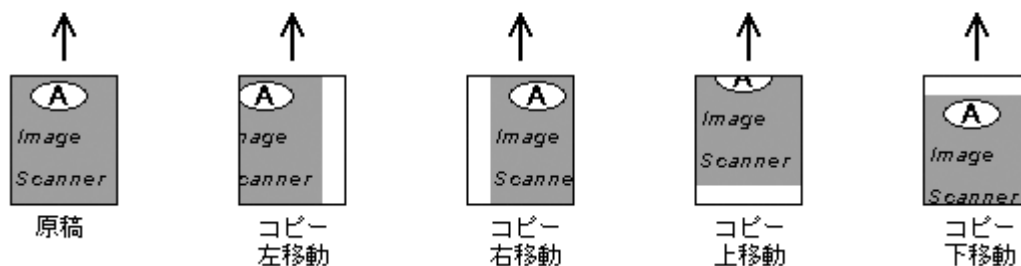
画像移動をするときは、「拡張機能設定」画面の[R3] または [L3] キーを押してください。

画像移動は、0～200 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

[L3] キーを繰り返し押して[左] または [右] を、[R3] キーを繰り返し押して[上] または [下] を選択してください。

画像を移動する距離をテンキーで入力してください。

画像移動



[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.8 鏡像

原稿を鏡に映したように反転してコピーするときは、「拡張機能設定」画面の[R4] または [L4] キーを押してください。「拡張機能設定 3」画面が表示されます。

[L1] キーを繰り返し押して、[オン] を選択してください。



[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.9 地色

原稿の地色を取り除くときは、「拡張機能設定」画面の[R4] または [L4] キーを押してください。「拡張機能設定 3」画面が表示されます。

[オン] を選択すると、地色はコピーされます。「オフ」を選択すると、地色はコピーされません。

[L2] キーを繰り返し押して、[オン] または [オフ] を選択してください。

原稿の画質を「写真」に設定している場合は、この機能は使用できません。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.10 日付スタンプ

コピーに日付を印刷するときは、「拡張機能設定」画面の[R4]または[L4]キーを押してください。「拡張機能設定 3」画面が表示されます。

[R1] キーを繰り返し押して、[オン]を選択してください。

[R2] キーを繰り返し押して、日付を印刷する位置を選択してください。

「左」を選択したときは、コピーの左上に日付が印刷されます。

「右」を選択したときは、コピーの右上に日付が印刷されます。

[R3] キーを繰り返し押して、日付の移動距離を入力してください。

[X] の数値を増やすと、日付は中央の方向へ移動します。

[Y] の数値を増やすと、日付は後端の方向へ移動します。

移動距離は[X]、[Y]それぞれ0~100 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。

[R4] キーを押して、日付のフォントサイズを設定してください。

8~16 pt (1 pt 単位) の範囲で設定できます。

日付の書式は次のとおりです。

例) 2006 年 11 月 7 日 火曜日 13:21:54 JST

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.11 セットコピー

セットコピーをするときは、「拡張機能設定」画面の[R4]または[L4]キーを押してください。「拡張機能設定 3」画面が表示されます。

[L3] キーを繰り返し押して、[オン]を選択してください。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.3.7.12 ソートモード

ソートモードを選択するときは「拡張機能設定」画面の[R4]または[L4]キーを押してください。「拡張機能設定 3」画面が表示されます。

[L4] キーを繰り返し押して、ソートモードを選択してください。

2 とおりのソートモードを選択できます。

(a) ソートモード : 1, 2, 3 → 123, 123, 123

(b) ソートモード : 1, 2, 3 → 111, 222, 333

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

3.4 トナーがなくなったら

「トナーが無くなりました」が表示されたら、トナーカートリッジを交換してください。図1の画面が表示されているときは、トナーカートリッジを交換しなくても、急ぎのコピーや印刷が可能です。操作パネルのいずれかのキー（[ストップ]キー以外）を押して、コピーまたは印刷を続けてください。

図2の画面が表示されているときは、コピーや印刷はできません。

トナーが残り少ないときに大量のコピーや印刷を行うと、図1の画面を表示しないまま、図2の画面が表示されることがあります。コピーや印刷はできません。トナーカートリッジを交換してください。

予備のトナーカートリッジを常に保管しておいてください。

図1

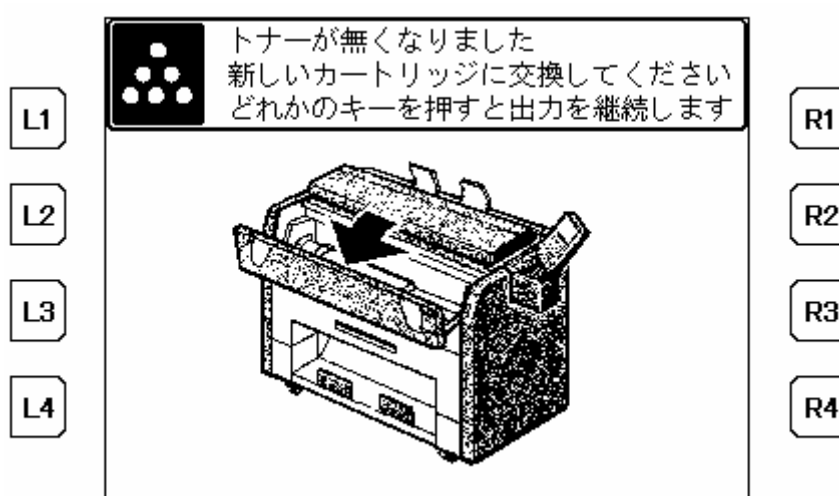
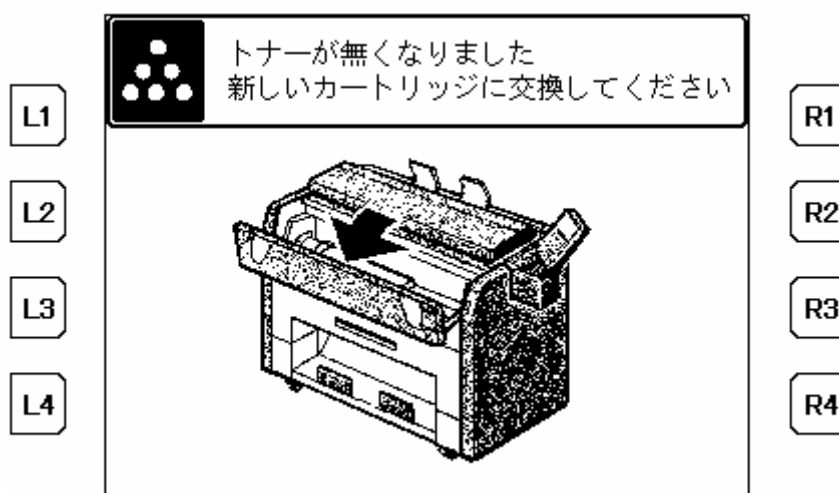


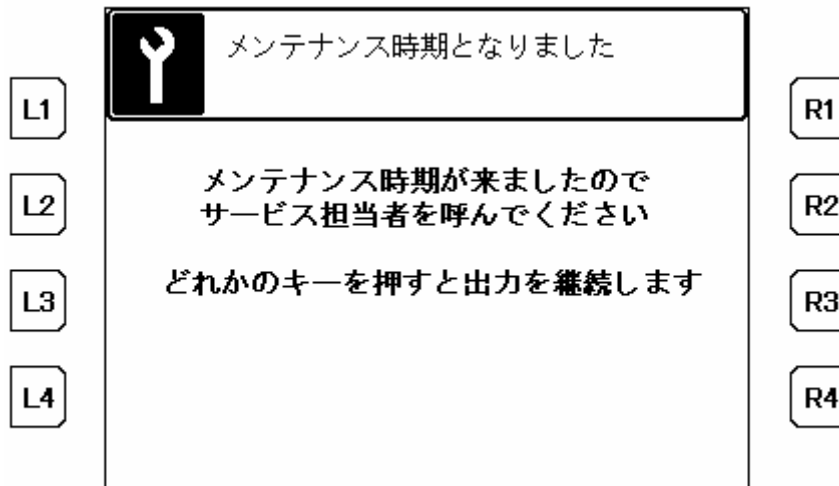
図2



3.5 メンテナンスのメッセージについて

メンテナンスが必要な時期になると、次の画面が表示されます。サービス担当者までご連絡ください。

この画面は、メンテナンスが終了するまで、コピーや印刷をするときに毎回表示されます。操作パネルのいずれかのキー（〔ストップ〕キー以外）を押して、コピーまたは印刷を開始してください。



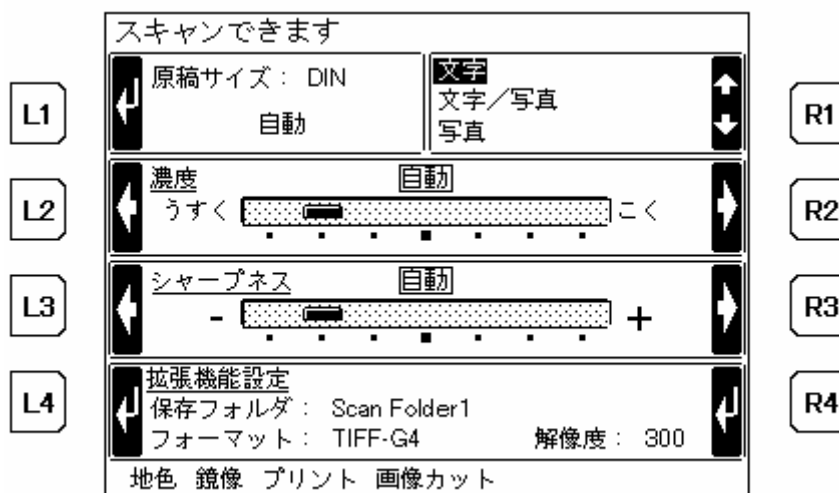
4. スキャナー機能

4.1 スキャンモード画面

次の画面は基本のスキャンモード画面です。

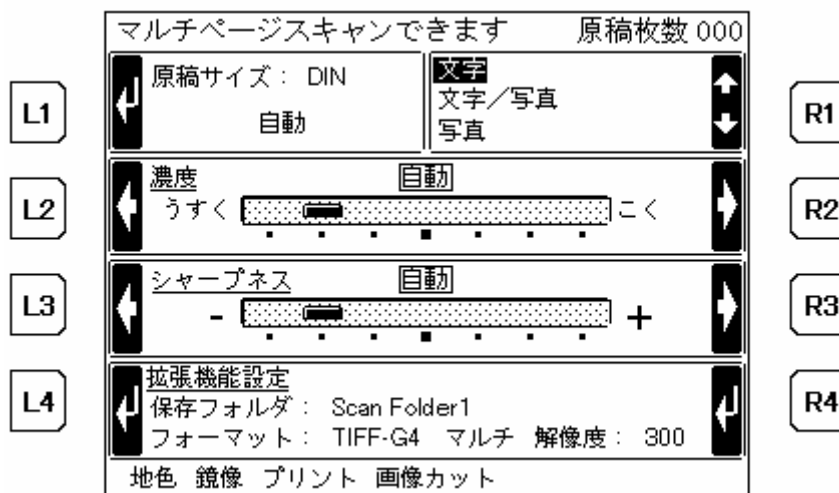
スキャンするときは、「スキャンできます」が画面の左上に表示されていることを確認してください。

コピーまたはスキャンモード画面が表示されているときのみ、原稿を挿入することができます。



マルチページスキャンをするときは、「マルチページスキャンできます」が画面の左上に表示されていることを確認してください。

マルチページスキャンのしかたおよびキャンセルについては、以降のページを参照してください。



原稿の1枚目を読み取った後に、「マルチページスキャンできます」と「設定キーでマルチスキャン終了」が交互に表示されます。

読み取った原稿枚数は、画面の右上に表示されます。

スキャンの前に次の設定も確認してください。

- ・ 原稿サイズ
- ・ 原稿の画質
- ・ 保存先
- ・ ファイルフォーマット（ファイル形式）
- ・ ファイル解像度

上記の設定については、以降のページを参照してください。

4.2 スキャナーの操作方法

4.2.1 基本的なスキャンのしかた

読み取る面を上にして、原稿テーブルに置いてください。

「スキャンできます」が表示されていたら、原稿を挿入してください。

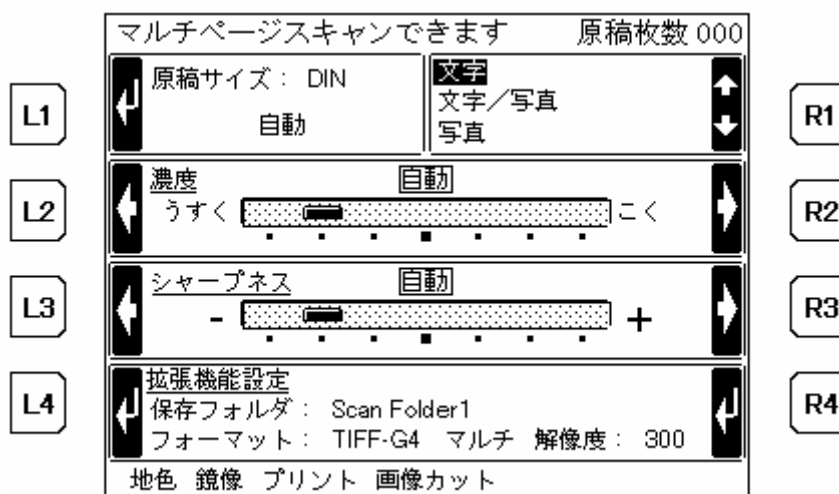
オートスタート機能が「オフ」の場合は、原稿を挿入するたびに【スタート】キーを押してください。

オートスタートを開始するまでの時間は、工場出荷時は 1.5 秒に設定されています。この時間は変更することができます。

4.2.2 マルチページスキャン

マルチページスキャンは数枚の原稿を 1 ファイルの画像データとして保存する場合に適しています。

199 枚までの原稿を読み取ることができます。



マルチページスキャンを行った原稿枚数は、画面の右上に表示されます。

原稿の 1 枚目を読み取った後に、「マルチページスキャンできます」と「設定キーでマルチスキャン終了」が交互に表示されます。

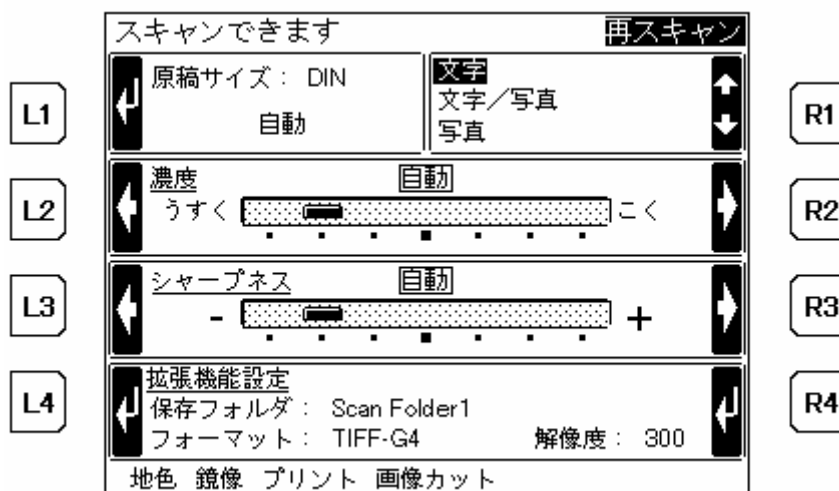
原稿をすべて読み取った後に、【設定】キーを押してください。

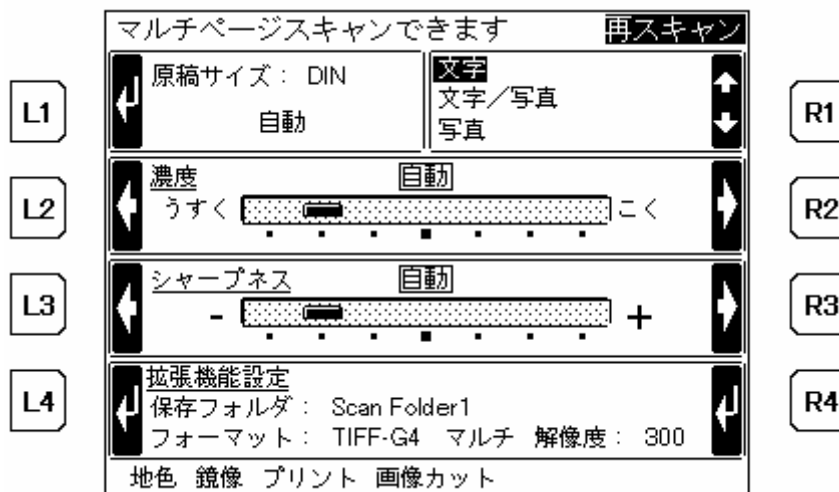
原稿は 1 ファイルの画像データとして保存されます。

原稿が保存されると、画面の原稿枚数は「000」に戻ります。

4.2.3 再スキャン機能

すでに読み取った画像データを新しい画像データに置き換える場合は、【再スキャン】キーを押してください。





再スキャンモードでは、画面の右上に「再スキャン」が表示されます。
再スキャンは、間違った原稿をスキャンしたときや、原稿が斜めにスキャンされてしまったときなどに便利です。

新しく画像をスキャンすると、先にスキャンした画像データは上書きされます。

新しい原稿の読み取りが終わると、再スキャンモードは終了します。
再度【再スキャン】キーを押しても、再スキャンモードを終了できます。

再スキャンは、置き換える画像データがない場合は機能しません。
また、画像データを保存するフォルダやFTPサーバーを変更した場合は機能しません。

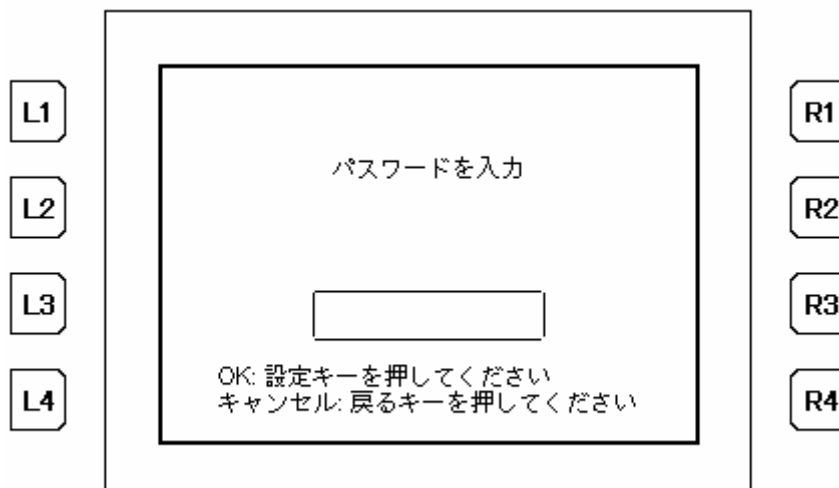
4.2.4 スキャンパスワード

保存フォルダやFTPサーバーでスキャンパスワードによる認証を行っている場合は、スキャンパスワードを入力する必要があります。

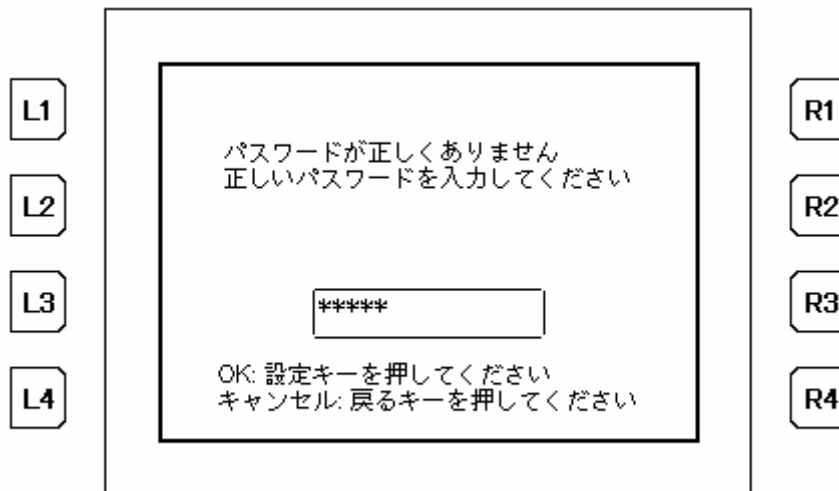
テンキーでスキャンパスワードを入力して、【設定】キーを押してください。

(工場出荷時のパスワードは0000です。)

パスワード画面の表示については、リモートウェブマネージャの使用説明書を参照してください。



入力したスキャンパスワードが正しくない場合は、次の画面が表示されます。



スキャンパスワードが正しい場合は、スキャン操作が継続されます。

スキャンパスワードは、スキャンモード画面から他の画面に移動する、または【クリア】キーを押すまで有効です。続けてスキャンするときは、スキャンパスワードを入力する必要はありません。

4.2.5 画像データのダウンロードについて

画像データのダウンロードの概要について説明します。

画像データはコンピュータのリモートウェブマネージャで管理できます。

詳細については、リモートウェブマネージャの使用説明書を参照してください。

画像データをダウンロードする手順は次のとおりです。

1. リモートウェブマネージャを起動してください。
2. 本機にログインしてください。
3. **Scan** タブをクリックしてください。
4. 画像データが保存されている保存フォルダをクリックしてください。
5. スキャンパスワードを入力して保存フォルダを開いてください。
6. 画像データの一覧が表示されます。
7. ダウンロードするデータを選択し、**ダウンロード**ボタンをクリックします。
8. 保存するフォルダを指定します。

画像データの名称は、「SD・年・月・日・_（アンダーバー）・6桁の通し番号・拡張子」になります。

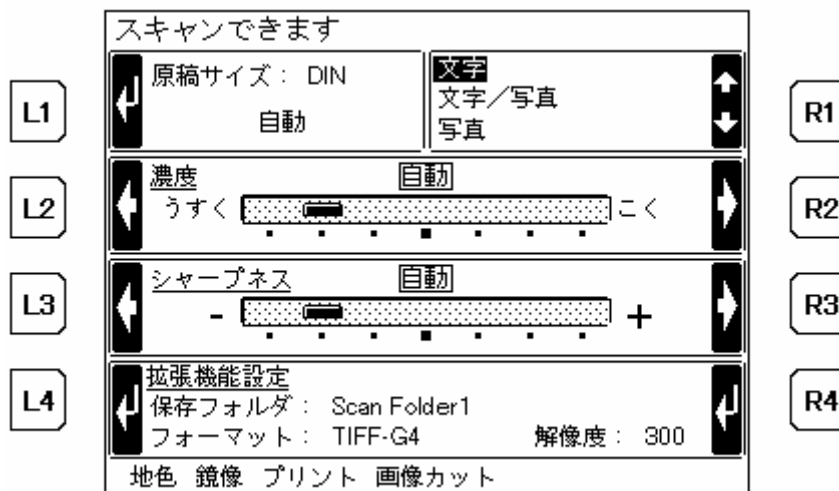
6桁の通し番号は、日付が変わると「000001」に戻ります。

例：SD060217_000001.tif

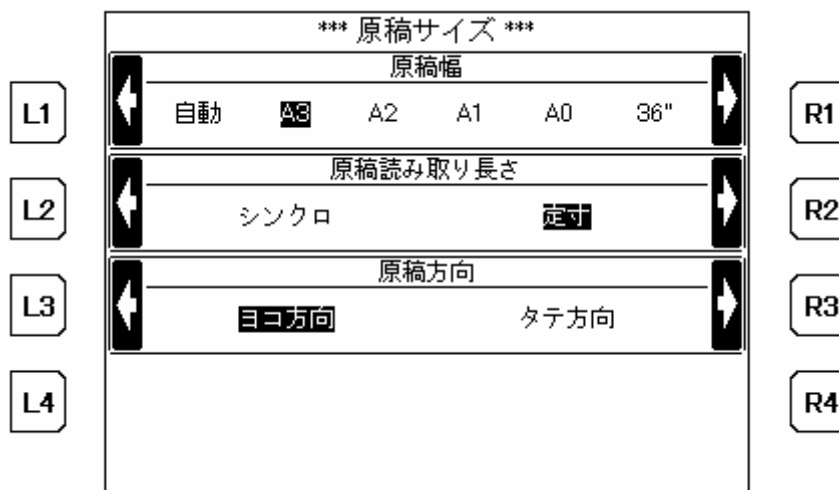
4.4 スキャン機能設定

4.3.1 原稿の幅

原稿の幅を設定する場合は、スキャンモード画面の [L1] キーを押してください。「原稿サイズ」画面が表示されます。



[L1] キーを繰り返し押して、原稿の幅を選択してください。



本機は設定した原稿の幅で読み取ります。

「自動」を選択した場合は、原稿の幅を自動的に検知します。

「自動」を選択した場合は、原稿の方向は設定できません。

設定できる「原稿幅」は「自動」、「A3」、「A2」、「A1」、「A0」、「36\"/>

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

4.3.2 原稿の読み取り長さ

原稿の読み取り長さを設定する場合は、スキャンモード画面の【L1】キーを押してください。「**原稿サイズ**」画面が表示されます。

「**シンクロ**」を選択する場合は【L2】キーを、「**定寸**」に設定する場合は【R2】キーを押してください。

「**シンクロ**」を選択した場合、画像の長さは原稿と同じになります。

「**定寸**」を選択した場合の長さは、下記の表を参照してください。

原稿の長さは「**原稿幅**」と「**原稿方向**」の組み合わせによって変わります。

【**設定**】キーを押して、設定を確定してください。

原稿幅		A3 (297mm)	A2 (420mm)	A1 (594mm)	A0 (841mm)	36"
読取り長さ	原稿方向 ヨコ	210mm	297mm	420mm	594mm	24"
	原稿方向 タテ	420mm	594mm	841mm	1189mm	48"

「**シンクロ**」を選択した場合は、原稿の方向は設定できません。

4.3.3 原稿の方向

原稿の方向を設定する場合は、スキャンモード画面の【L1】キーを押してください。「**原稿サイズ**」画面が表示されます。

「**ヨコ方向**」を選択する場合は【L3】キーを、「**タテ方向**」を選択する場合は【R3】キーを押してください。

「**ヨコ方向**」を選択した場合は、原稿を横方向に読み取ります。

「**タテ方向**」を選択した場合は、原稿を縦方向に読み取ります。

次の場合は原稿の方向を設定できません。

- ・ 原稿の幅が「**自動**」の場合
- ・ 原稿の読み取り長さが「**シンクロ**」の場合

4.3.4 原稿の画質

原稿に合わせて画質を設定します。

「**文字**」は書類など文字が多い原稿に適しています。

「**文字／写真**」は文字と写真が混在する原稿に適しています。

「**写真**」は写真や色合いが濃い原稿に適しています。

スキャンモード画面の【R1】キーを繰り返し押して、原稿の画質を選択してください。

4.3.5 濃度

「自動」にすると、画像は最適な濃度に調整されます。
スキャンモード画面の [L2] キーを押すとうすくなり、[R2] キーを押すとこくなります。

4.3.6 シャープネス

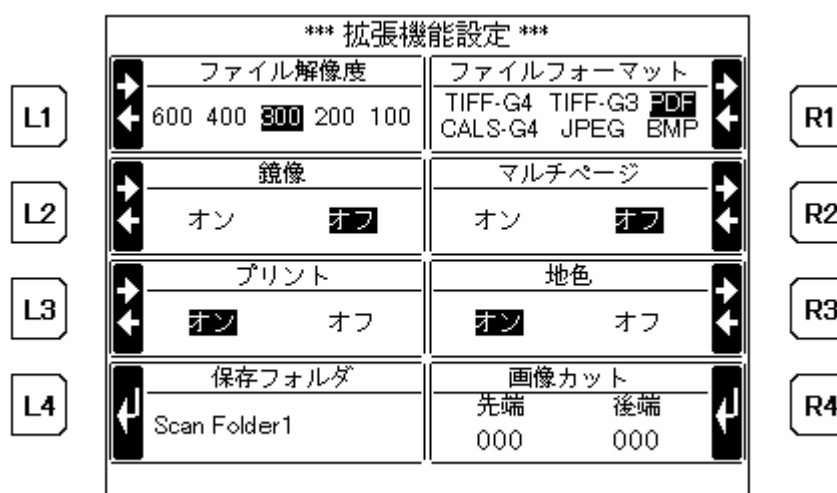
「自動」にすると、画像は最適な鮮明さに調整されます。
スキャンモード画面の [L3] キーを押すと弱くなり、[R3] キーを押すと強くなります。

4.3.7 拡張機能設定

スキャンモード画面の [R4] または [L4] キーを押してください。「拡張機能設定」画面が表示されます。

拡張機能設定では次の項目が設定できます。

- ・ ファイル解像度
- ・ ファイルフォーマット（ファイル形式）
- ・ 鏡像
- ・ マルチページ
- ・ プリント（印刷）
- ・ 地色
- ・ 保存フォルダ（保存先）
- ・ 画像カット（先端）
- ・ 画像カット（後端）



4.3.7.1 ファイル解像度

「拡張機能設定」画面の [L1] キーを繰り返し押し、解像度を選択してください。
（「600」、「400」、「300」、「200」、「100」）

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

4.3.7.2 ファイルフォーマット（ファイル形式）

スキャンした画像データは、次のファイル形式で保存できます。

- ・ TIFF-G4
- ・ TIFF-G3
- ・ PDF
- ・ CALS-G4
- ・ JPEG
- ・ BMP

「拡張機能設定」画面の[R1]キーを繰り返し押して、ファイル形式を選択してください。

[設定]キーを押して、設定を確定してください。

4.3.7.3 鏡像

原稿を鏡に映したように反転してスキャンする場合は、「拡張機能設定」画面の[L2]キーを繰り返し押して、「オン」を選択してください。

[設定]キーを押して、設定を確定してください。

4.3.7.4 マルチページ

「オン」を選択すると、数枚の原稿を1ファイルの画像データとして保存します。
「拡張機能設定」画面の[R2]キーを繰り返し押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

「オン」はファイルフォーマット（ファイル形式）をTIFF-G4、TIFF-G3またはPDFに設定している場合のみ選択できます。

[設定]キーを押して、設定を確定してください。

4.3.7.5 プリント（印刷）

「オン」を選択すると、原稿をスキャンしたときに、同時に印刷します。
「拡張機能設定」画面の[L3]キーを繰り返し押して「オン」または「オフ」を選択してください。

[設定]キーを押して、設定を確定してください。

4.3.7.6 地色

「オン」を選択すると、地色はそのままスキャンされます。「オフ」を選択すると、地色は消去されます。

「拡張機能設定」画面の[R3]キーを繰り返し押して、「オン」または「オフ」を選択してください。

原稿の画質を「写真」に設定している場合は、この機能は使用できません。

[設定]キーを押して、設定を確定してください。

4.3.7.7 保存フォルダ（保存先）

保存先を、6つのフォルダと2箇所のFTPサーバーから指定できます。

保存先を指定する場合は、「拡張機能設定」画面の[L4]キーを押してください。「保存フォルダ」画面が表示されます。

対応するキーを押して、保存フォルダを選択してください。

*** 保存フォルダ ***			
L1	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 1	Scan Folder 5	<input checked="" type="checkbox"/> R1
L2	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 2	Scan Folder 6	<input checked="" type="checkbox"/> R2
L3	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 3	FTP-1	<input checked="" type="checkbox"/> R3
L4	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 4	FTP-2	<input checked="" type="checkbox"/> R4

画像データはコンピュータのリモートウェブマネージャで管理できます。
画像データは本機に 72 時間保存され、その後消去されます。

【設定】キーを押して、設定を確定してください。

詳細については、リモートウェブマネージャの**使用説明書**を参照してください。

4.3.7.8 画像カット（先端）

画像の先端をカットしてスキャンできます。

設定する場合は、「**拡張機能設定**」画面の [R4] キーを押してください。「**画像カット**」画面が表示されます。

カットする長さは 0～300 mm（1 mm 単位）の範囲で設定できます。

[R1] キーを押すと値が大きくなり、[L1] キーを押すと値が小さくなります。

【設定】キーを押して、設定を確定してください。

*** 画像カット ***

L1 [Left Arrow] - 先端 0 mm + [Right Arrow] R1

L2 [Left Arrow] - 後端 100 mm + [Right Arrow] R2

L3

L4

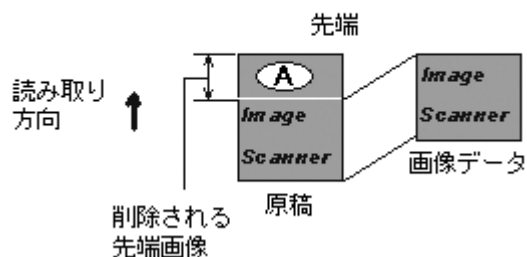
R3

R4

注意

原稿の読み取り長さを「**シンクロ**」に設定している場合は、次の点にご注意ください。
先端をカットする長さの分、画像データは短くなります。

原稿読み取り長さ：シンクロ

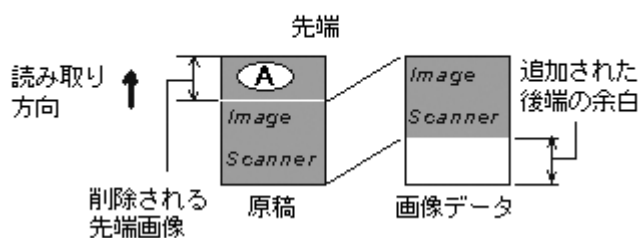


原稿の読み取り長さを「**定寸**」に設定している場合は、次の点にご注意ください。

画像データの長さは常に設定されたサイズと同じになります。

画像の先端をカットすると、カットされた部分は削除され、画像データの後端にカットした分の余白を追加して、設定されたサイズに合わせます。

原稿読み取り長さ：定寸



4.3.7.9 画像カット（後端）

画像の後端をカットしてスキャンできます。

設定する場合は、「拡張機能設定」画面の[R4]キーを押してください。「画像カット」画面が表示されます。

カットする長さは0～300 mm（1 mm単位）の範囲で設定できます。

[R2]キーを押すと値が大きくなり、[L2]キーを押すと値が小さくなります。

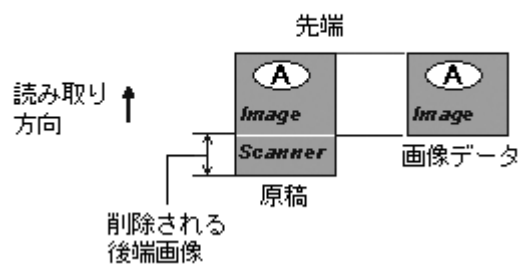
[設定]キーを押して、設定を確定してください。

*** 画像カット ***				
L1	← -	先端 <input type="text" value="0"/> mm	+ → R1	
L2	← -	後端 <input type="text" value="100"/> mm	+ → R2	
L3				R3
L4				R4

注意

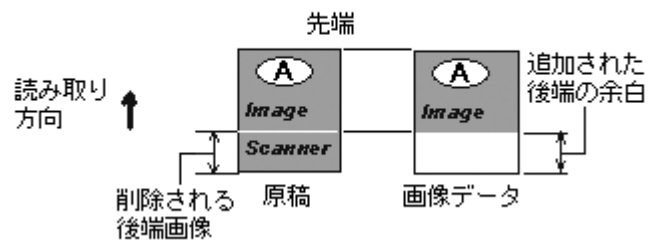
原稿の読み取り長さを「シンクロ」に設定している場合は、次の点にご注意ください。
後端をカットする長さの分、画像データは短くなります。

原稿読み取り長さ：シンクロ



原稿の読み取り長さを「定寸」に設定している場合は、次の点にご注意ください。
画像データの長さは常に設定されたサイズと同じになります。
画像の後端をカットすると、カットされた部分は削除され、画像データの後端にカットされた分の余白を追加して、設定されたサイズに合わせます。

原稿読み取り長さ：定寸



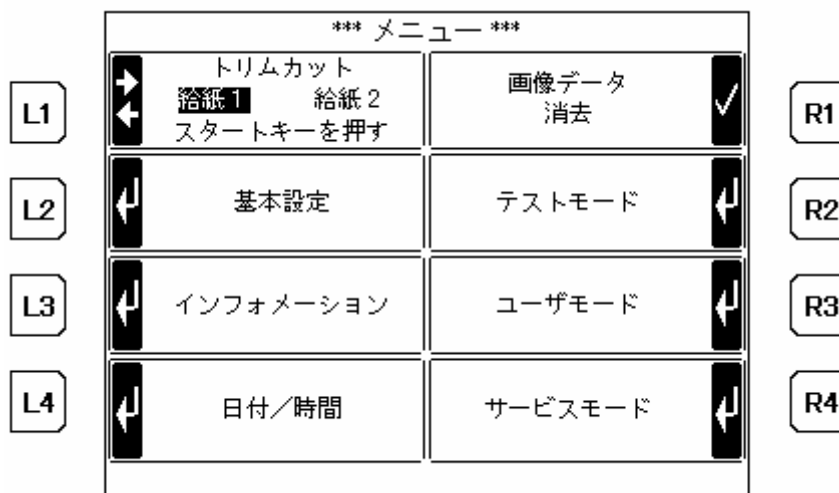
5. メニューモード

5.1 「メニュー」モード画面

「メニュー」モード画面では次の項目を設定できます。

- ・ トリムカット
- ・ 画像データ消去
- ・ 基本設定
- ・ テストモード
- ・ インフォメーション
- ・ ユーザモード
- ・ 日付／時間
- ・ サービスモード

【メニュー】キーを押してください。「メニュー」モード画面が表示されます。



5.2 設定方法

5.2.1 トリムカット

トリムカットはロール紙の先端を切りそろえる機能です。

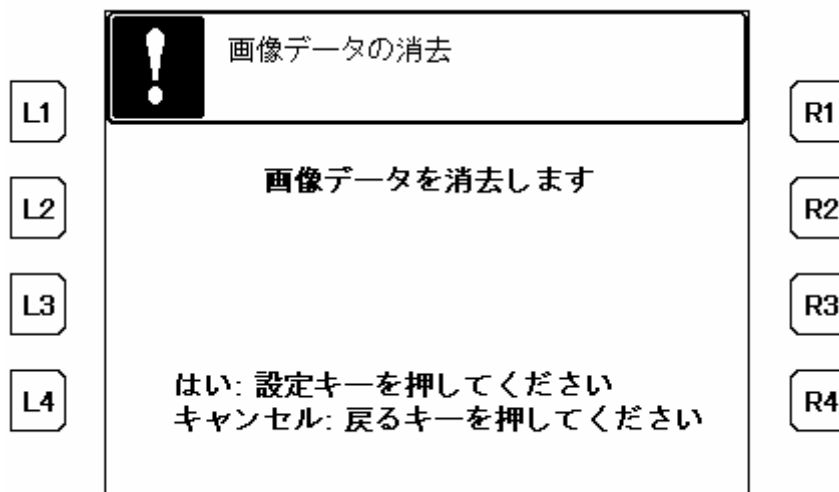
「メニュー」モード画面の【L1】キーを繰り返し押して、「給紙1」または「給紙2」を選択してください。

【スタート】キーを押してください。トリムカットが行われます。

5.2.2 画像データ消去

再コピーに使用する画像データを消去します。「メニュー」モード画面の【R1】キーを押してください。

次の画面が表示されたら、【設定】キーを押してください。画像データが消去されます。



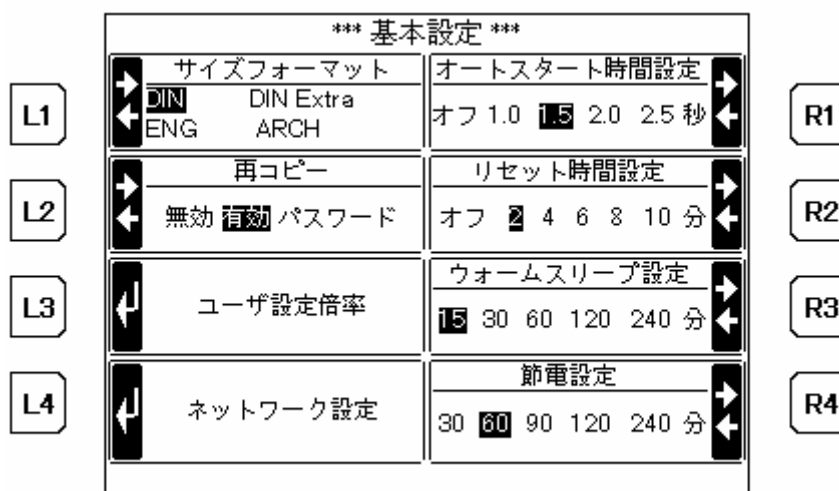
5.2.3 基本設定

「メニュー」モードの [L2] キーを押して、基本設定を行います。

「基本設定」画面を表示させるには、ユーザパスワードの入力が必要です。
 テンキーでパスワードを入力し、[設定] キーを押してください。
 (初期設定のユーザパスワードは 3650 です。)

基本設定では次の項目を設定できます。

- ・ サイズフォーマット
- ・ オートスタート時間設定
- ・ 再コピー
- ・ リセット時間設定
- ・ ウォームスリープ設定
- ・ 節電設定
- ・ ユーザ設定倍率
- ・ ネットワーク設定



5.2.3.1 サイズフォーマット

「基本設定」画面の [L1] キーを繰り返し押して、「DIN」、「DIN Extra」、「ENG」、「ARCH」を選択してください。880 mm (A0 ノビ) を使用する場合は、「DIN Extra」を選択してください。用紙サイズの紙幅が、「A0」から「880」に表示が変わります。
[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.3.2 オートスタート時間設定

原稿をセットしてから、読み取りを開始するまでの時間を設定します。
「基本設定」画面の [R1] キーを繰り返し押して、時間を選択してください。
設定できるオートスタート時間は、「オフ」、「1.0」、「1.5」、「2.0」、「2.5」です。
「オフ」を選択したときは、原稿をセットするたびに [スタート] キーを押してスキャンを開始してください。
[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.3.3 再コピー

再コピーの許可について設定します。
「基本設定」画面の [L2] キーを繰り返し押して、設定項目を選択してください。
「無効」：再コピーできません。
「有効」：再コピーできます。
「パスワード」：再コピーを行うときにパスワードの入力が必要になります。
[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.3.4 リセット時間設定

本機の操作終了後、一定の時間が経過すると、画面上のすべての設定をリセットすることができます。
「基本設定」画面の [R2] キーを繰り返し押して、リセットするまでの時間を選択してください。
設定できるリセット時間は、「オフ」、「2」、「4」、「6」、「8」、「10」です。
「オフ」を選択すると、設定はリセットされません。
[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.3.5 ウォームスリープ設定

本機の操作終了後、一定の時間が経過すると、ウォームスリープモードに移行することができます。
「基本設定」画面の [R3] キーを繰り返し押して、移行するまでの時間を選択してください。
設定できるウォームスリープ移行時間は、「15」、「30」、「60」、「120」、「240」です。
[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.3.6 節電設定

本機の操作終了後、一定の時間が経過すると、節電モードに移行することができます。
「基本設定」画面の [R4] キーを繰り返し押して、移行するまでの時間を選択してください。
設定できる節電モード移行時間は、「30」、「60」、「90」、「120」、「240」です。
[設定] キーを押して、設定を確定してください。

参考：節電モードに移行すると操作パネルの画面は表示されなくなります。
復帰するには、操作パネル上のいずれかのキーを押してください。

- ！ メインスイッチを ON にしたとき、またスリープモードから復帰するときは、画面が表示されるまで 1 分間かかります。
この間にメインスイッチを OFF にしないでください。

5.2.3.7 ユーザ設定倍率

ユーザ設定倍率では、任意の倍率を固定倍率として登録できます。
「基本設定」画面の [L3] キーを押してください。「ユーザ設定倍率」画面が表示されます。

[L2] キー、[R2] キー、[L3] キー、[R3] キーはそれぞれ「設定 1」、「設定 2」、「設定 3」、「設定 4」に対応しています。
[L2]、[R2]、[L3] または [R3] キーを押して、倍率をテンキーで入力してください。

*** ユーザ設定倍率 ***					
L1	←	-	倍率	138.0 %	+ →
L2	↶	設定 1	80.3 %	設定 2	138.0 %
L3	↷	設定 3	180.0 %	設定 4	---
L4	削除				✓

R1 R2 R3 R4

倍率は 25.0～400.0% の範囲で設定できます。
選択した倍率を削除する場合は、[R4] キーを押してください。
登録した任意の倍率が、固定倍率に追加されます。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.3.8 ネットワーク設定

「基本設定」画面の [L4] キーを押してください。「ネットワーク設定」画面が表示されます。

ネットワーク設定では次の項目を設定できます。

- ・ DHCP サーバー
- ・ IP アドレス
- ・ サブネットマスク
- ・ デフォルトゲートウェイ
- ・ DNS サーバーアドレス

*** ネットワーク設定 ***	
L1	DHCP サーバー オン オフ
L2	IP アドレス 192.168.100.10
L3	サブネットマスク 255.255.255.0
L4	デフォルトゲートウェイ 192.168.100.254
	DNS サーバーアドレス 0.0.0.0 0.0.0.0

R1 **R2** **R3** **R4**

いずれかの設定を変更すると、次の画面が表示されます。

! ネットワーク設定の変更	
L1	
L2	プリンタの電源を切り、1分経ちましたら再度電源を入れてください
L3	
L4	OK: 設定キーを押してください

R1 **R2** **R3** **R4**

ネットワーク設定を変更したら、本機の電源を入れ直す必要があります。

【設定】キーを押して、その後メインスイッチを OFF にしてください。

1分経過したら、メインスイッチを ON にしてください。

- !** メインスイッチを ON にしたとき、またスリープモードから復帰するときは、画面が表示されるまで1分間かかります。
この間にメインスイッチを OFF にしないでください。

5.2.3.8.1 DHCP サーバー

「ネットワーク設定」画面の [L1] キーを繰り返し押して、「オン」または「オフ」を選択してください。「オン」を選択すると DHCP サーバーを使用します。

「ネットワーク設定」画面の [L2] キーを押してください。「ネットワーク設定 1」画面が表示されます。

*** ネットワーク設定 1 ***			
L1	⚡	IP アドレス	⚡
		192 . 168 . 100 . 10	R1
L2	⚡	サブネットマスク	⚡
		255 . 255 . 255 . 0	R2
L3	⚡	デフォルトゲートウェイ	⚡
		192 . 168 . 100 . 254	R3
L4			R4

「IP アドレス」を設定する場合は、[R1] または [L1] キーを繰り返し押して、設定する数値を選択してください。

「サブネットマスク」を設定する場合は、[R2] または [L2] キーを繰り返し押して、設定する数値を選択してください。

「デフォルトゲートウェイ」を設定する場合は、[R3] または [L3] キーを繰り返し押して、設定する数値を選択してください。

反転表示になった数値を変更できます。[クリア] キーを押して、現在の数値を削除し、テンキーで新しい数値を入力してください。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.3.8.2 DNS サーバーアドレス

DNS サーバーの IP アドレスを設定する場合は、「ネットワーク設定」画面の [R1] キーを押してください。「ネットワーク設定 2」画面が表示されます。

*** ネットワーク設定 2 ***			
L1	⚡	DNS サーバーアドレス 1	⚡
		0 . 0 . 0 . 0	R1
L2	⚡	DNS サーバーアドレス 2	⚡
		0 . 0 . 0 . 0	R2
L3			R3
L4			R4

「DNS サーバーアドレス 1」を設定する場合は、[R1] または [L1] キーを繰り返し押して、設定する数値を選択してください。

「DNS サーバーアドレス 2」を設定する場合は、[R2] または [L2] キーを繰り返し押して、設定する数値を選択してください。

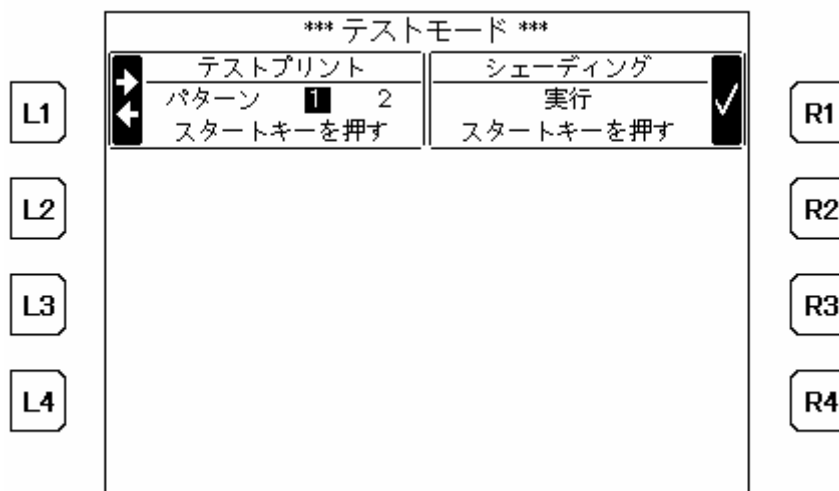
反転表示になった数値を変更できます。[クリア] キーを押して、現在の数値を削除し、テンキーで新しい数値を入力してください。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.4 テストモード

「メニュー」モード画面の[R2]キーを押して、「テストモード」画面を表示します。

「テストモード」画面を表示するには、ユーザパスワードの入力が必要です。



5.2.4.1 テストプリント

2種類のテストプリントがあります。

テストプリントにより、印刷部の動作確認ができます。

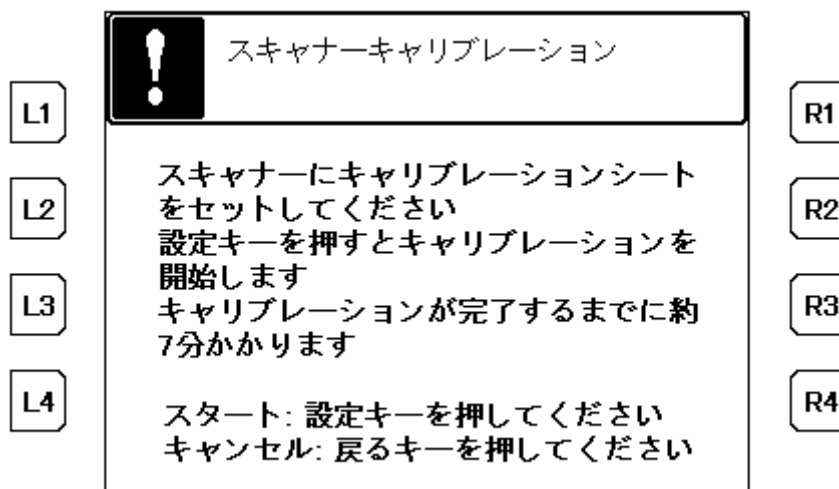
「テストモード」画面の[L1]キーを繰り返し押して、「パターン」の番号を選択し、[スタート]キーを押してください。テストプリントを実行します。

5.2.4.2 シェーディング

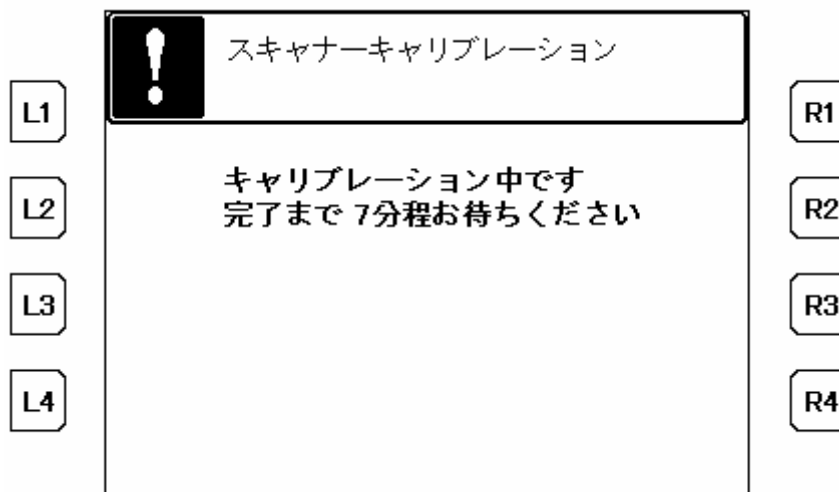
スキャナーの読み取りセンサ部を「シェーディング」により補正します。

「テストモード」画面の[R1]キーを押して「実行」を反転表示させてください。次に[スタート]キーを押してください。

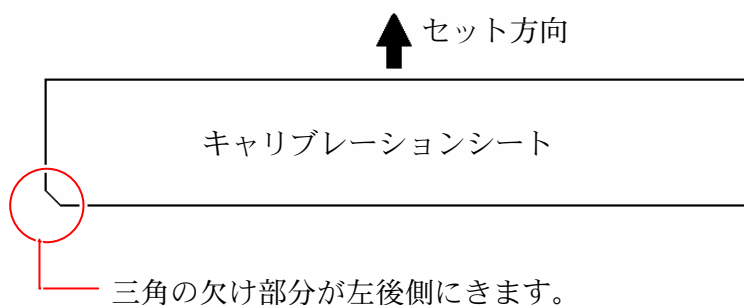
次の画面が表示されます。



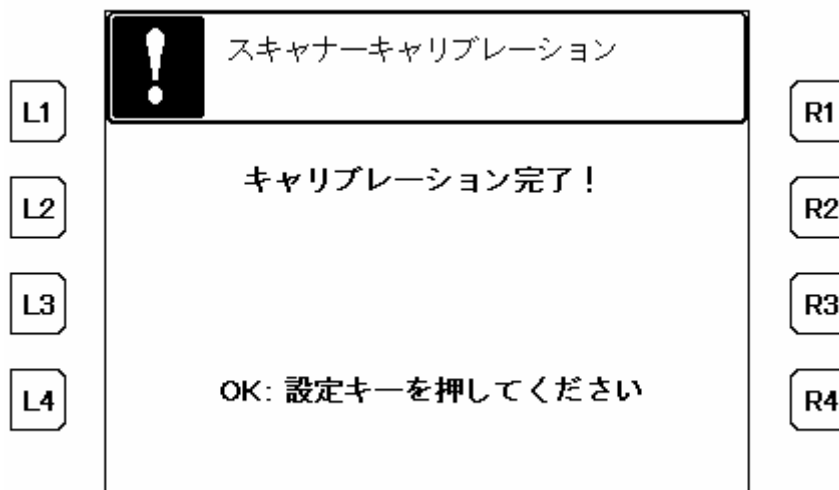
原稿テーブルにキャリブレーションシートをセットして、[設定]キーを押してください。キャリブレーションを実行します。



キャリブレーションシートのセット方向に注意してください。
 セット方向に対して、キャリブレーションシートの三角の欠け部分が左後側になります。



キャリブレーションには約7分間かかります。
 キャリブレーションが完了すると、次の画面が表示されます。



【設定】キーを押してください。

5.2.5 インフォメーション

「メニュー」モード画面の [L3] キーを押すと、本機の情報が表示されます。

次の情報が表示されます。

- ・ 日付 (年・月・日)
- ・ スキャナーバージョン
- ・ プリントカウンタ
- ・ プリンタバージョン
- ・ コントローラバージョン
- ・ インフォメーション印刷

*** インフォメーション ***			
L1	日付	スキャナーバージョン	R1
	2006/09/27	1.00	
L2	プリントカウンタ	プリンタバージョン	R2
	00064361 (lm)	108X12B	
L3		コントローラバージョン	R3
L4		1.08.00	R4
		インフォメーション印刷	✓

5.2.6 ユーザモード

「メニュー」モード画面の [R3] キーを押してください。「ユーザモード」画面が表示されます。

ユーザモードでは次の項目を設定できます。

- ・ ユーザ初期設定
- ・ ユーザパスワードの変更
- ・ スキャンパスワードの初期化
- ・ プリンタ設定
- ・ 言語選択

*** ユーザモード ***			
L1	← ユーザ初期設定	言語選択	R1
		English	
L2	← ユーザパスワードの 変更	Deutsch	R2
		Français	
L3	✓ スキャンパスワードの 初期化	Italiano	R3
		Español	
L4	← プリンタ設定	日本語	R4

5.2.6.1 ユーザ初期設定

ユーザ初期設定では、本機が起動した直後や【リセット】キーを押した後の初期設定を変更できます。

「ユーザモード」画面の【L1】キーを押してください。「ユーザ初期設定」画面が表示されます。

*** ユーザ初期設定 ***			
L1	↑ 定寸カット	ファイルフォーマット	R1
	↓ シンクロカット	TIFF-G4 TIFF-G3 PDF CALS-G4 JPEG BMP	
L2	↑ 文字	ファイル解像度	R2
	↓ 文字／写真 写真	600 400 300 200 100	
L3	画質		R3
	自動 手動		
L4	地色		R4
	オン オフ		

【L1】キーを繰り返し押して、コピーモードでのカット方法を選択してください。

【L2】キーを繰り返し押して、コピー／スキャンモードでの原稿の画質を選択してください。

【L3】キーを繰り返し押して、コピー／スキャンモードでの濃度、コントラスト、シャープネスについて、「自動」または「手動」から選択してください。

【L4】キーを繰り返し押して、コピー／スキャンモードで地色除去を行うかどうかを選択してください。

【R1】キーを繰り返し押して、スキャンモードのファイル形式を選択してください。

【R2】キーを繰り返し押して、スキャンモードのファイル解像度を選択してください。

【設定】キーを押して、設定を確定してください。

5.2.6.2 ユーザパスワードの変更

ユーザパスワードを変更する場合は、「ユーザモード」画面の【L2】キーを押してください。「パスワード変更」画面が表示されます。

*** パスワード変更 ***	
L1	現在のパスワードを入力 <input type="text"/>
L2	新しいパスワードを入力 <input type="text"/>
L3	新しいパスワードの再入力 <input type="text"/>
L4	


【R1】キーを押して、「現在のパスワードを入力」を選択してください。

【R2】キーを押して、「新しいパスワードを入力」を選択してください。

【R3】キーを押して、「新しいパスワードの再入力」を選択してください。

各パスワードはテンキーで入力してください。

ユーザパスワードが変更されると、次の画面が表示されます。

L1	<div> ユーザパスワードの変更</div>	R1
L2	ユーザパスワードが変更されました	R2
L3		R3
L4	OK: 設定キーを押してください	R4

〔設定〕キーを押してください。

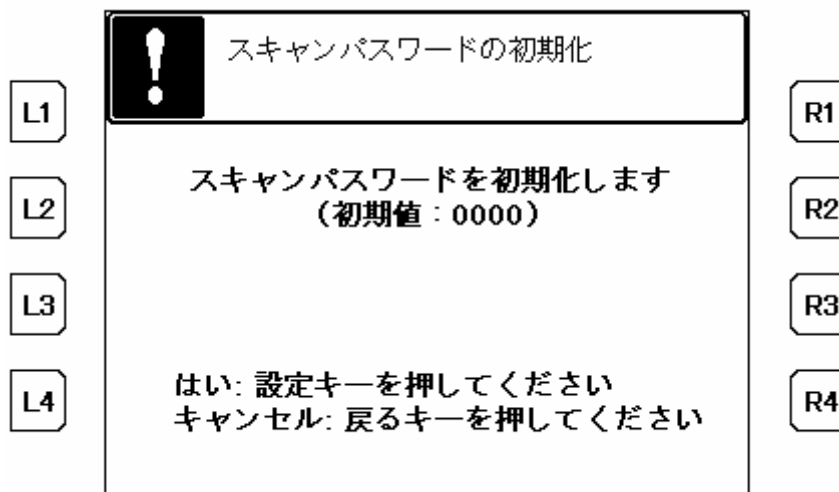
5.2.6.3 スキャンパスワードの初期化

スキャンした画像データの保存先には、個別にスキャンパスワードを設定することができます。

スキャンパスワードを初期化する場合は、「ユーザモード」画面の〔L3〕キーを押してください。「スキャンパスワードの初期化」画面を表示します。「スキャンパスワードの初期化」画面を表示するには、パスワードの入力が必要です。

*** スキャンパスワードの初期化 ***			
L1	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 1	Scan Folder 5	<input checked="" type="checkbox"/> R1
L2	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 2	Scan Folder 6	<input checked="" type="checkbox"/> R2
L3	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 3	FTP-1	<input checked="" type="checkbox"/> R3
L4	<input checked="" type="checkbox"/> Scan Folder 4	FTP-2	<input checked="" type="checkbox"/> R4

対応するキーを押して、スキャンパスワードを初期化する保存先を選択し、〔設定〕キーを押してください。



〔設定〕キーを押すと、スキャンパスワードが初期化されます。

5.2.6.4 プリンタ設定

プリンタ設定では次の項目を変更できます。

低温モード

本機を低温で使用する場合は、「オン」に設定してください。

転写アシストランプ

「オン」に設定した場合は、画像がよりクリアに印刷されます。

スムージング

「オン」に設定した場合は、線がなめらかで高品質な印刷ができます。

ドット拡張

「オン」に設定した場合は、ドット（点）が強調されます。

「ユーザモード」画面の [L4] キーを押してください。「プリンタ設定」画面が表示されます。



5.2.6.5 言語選択

画面に表示される言語を選択できます。

「ユーザモード」画面の [R1] キーを繰り返し押して、言語を選択してください。

〔設定〕キーを押して、設定を確定してください。

5.2.7 日付／時間

日付／時間を設定する場合は、「メニュー」モード画面の [L4] キーを押して、「日付／時間」画面を表示します。

「日付／時間」画面を表示するには、ユーザパスワードの入力が必要です。

「年」、「月」または「日」を設定する場合は、[R1] または [L1] キーを繰り返し押して、設定する項目を選択してください。

「時」または「分」を設定する場合は、[R2] または [L2] キーを繰り返し押して、設定する項目を選択してください。

*** 日付／時間 ***		
年	月	日
2006	09	27
時 分		
08	:	29

テンキーで数値を入力してください。

[設定] キーを押して、設定を確定してください。

5.2.8 サービスモード

「メニュー」モード画面の [R4] キーは押さないでください。

このモードはサービス担当者向けのモードです。

コピー/スキャン 使用説明書

2006.11 Rev. 1.0

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。